

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
3 琵琶湖の保全および再生のための事項			
(1) 水質の汚濁の防止及び改善に関する事項			
① 持続的な汚水処理システムの構築			
	【流域下水道事業】 市町の公共下水道の整備とあわせて琵琶湖流域下水道の整備を実施。	R3年度～R7年度(見込)： 汚水処理幹線4処理区 浄化センター4箇所	滋賀県[国土交通省補助] 【下水道課】
	【流域下水道管理事業】 琵琶湖流域下水道処理場および管渠等の維持管理を実施。	R3年度～R7年度(見込)： 処理場(4箇所)、管路、ポンプ場の維持管理、管路清掃、下水道台帳の整備(各年度実施)	滋賀県(県単) 【下水道課】
	【汚水処理施設整備接続等交付金】 公共下水道や浄化槽の整備を行う市町を支援。	R3年度：10市3町 R4年度：10市2町 R5年度：11市3町 R6年度：11市5町(見込) R7年度(見込)：未定	市町[滋賀県補助] 【下水道課】
	【農業集落排水事業】 農業集落排水施設の安定した施設能力確保するため、農業集落排水施設の更新・改築を実施。	R3年度：機能強化工事 4地区、費用対効果算出 1地区 R4年度：機能強化工事 5地区、計画策定業務 1地区 R5年度：機能強化工事 5地区、機能診断調査 1地区、 計画策定業務 2地区 R6年度：機能強化工事 5地区、機能診断調査 1地区 計画策定業務 2地区、費用対効果算出 1地区 R7年度(見込)：機能強化工事 5地区、計画策定業務 1地区 費用対効果算出 3地区	市町[農林水産省補助] 【農村振興課】
	【浄化槽設置整備事業】 琵琶湖の水質保全、生活環境の保全および公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽の整備を実施。	R3年度：設置基数 158基 R4年度：設置基数 73基、既設浄化槽の改築 54基 R5年度：設置基数 80基、既存浄化槽の改築 91基、 浄化槽台帳整備 1市 R6年度：設置基数 139基、既存浄化槽の改築 100基(見込) R7年度(見込)：未定	市町[環境省/滋賀県補助] 【循環社会推進課】
② 面源負荷対策			
	【流域下水道事業】(再掲) 市町の公共下水道の整備とあわせて琵琶湖流域下水道の整備を実施。	R3年度～R7年度(見込)： 汚水処理幹線4処理区 浄化センター4箇所	滋賀県[国土交通省補助] 【下水道課】
	【流域下水道管理事業】(再掲) 琵琶湖流域下水道処理場および管渠等の維持管理を実施。	R3年度～R7年度(見込)： 処理場(4箇所)、管路、ポンプ場の維持管理、管路清掃、下水道台帳の整備(各年度実施)	滋賀県(県単) 【下水道課】
	【農業濁水防止活動推進事業】 農業濁水の流出防止の取組を推進するため、河川の透視度調査および啓発活動の実施。	R3年度～R6年度：59河川、78地点(各年度) R7年度：57河川、74地点	滋賀県(県単) 【みらいの農業振興課】
	【(県営みずすまし事業) 農業排水路から公共水域へと流出する汚濁負荷量を削減するため、農業排水の循環かんがいシステム、農業排水浄化施設の整備を実施。	R3年度～R7年度： 水質浄化施設整備 1式、水質浄化施設改修 1式	滋賀県 [農林水産省補助] 【農村振興課】
	【農業排水循環利用促進事業】 循環かんがい施設や反復利用施設を活用し、農業排水の再利用に取り組む事業主体に対し、掛かり増し経費を支援。	R3年度：6地区 R4～7年度(見込)：5地区	協議会 [滋賀県補助] 【耕地課】
	【補助河川環境整備事業】 汚濁の著しい内湖や南湖の閉鎖性水域に流入する河川において水質改善対策を実施。	R3年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 護岸工・植栽工 R4年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 護岸工・植栽工 R5年度：赤野井湾 モニタリング調査、木浜内湖 植栽工 R6年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 浚渫工・覆砂工 R7年度(見込)：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 浚渫工・覆砂工	滋賀県[国土交通省補助] 【流域政策局】
	【ダム管理事業(ダム湖水質保全)】 ダム湖の水質保全および水質の把握を行うため、曝気設備の運用管理や水質検査を実施。	R3年度～R7年度(見込)： 曝気設備の運用管理(余呉湖、姉川ダム)、 水質検査(日野川ダム、石田川ダム、宇曽川ダム、青土ダム、姉川ダム)	滋賀県(県単) 【流域政策局】
④ その他対策			
	【水質汚濁対策事業(琵琶湖保全再生課計上分除く)】 工場等排水および地下水質の調査(大津市除く)およびその調査分析精度の管理を実施。	R3年度：工場等排水調査 225検体、地下水調査 197地点 R4年度：工場等排水調査 281検体、地下水調査 198地点 R5年度：工場等排水調査 251検体、地下水調査 192地点 R6年度：工場等排水調査 260検体、地下水調査 170地点(見込) R7年度(見込)：未定	滋賀県(県単) 【環境政策課】
	【環境検査事業】 大津市内の河川、地下水および工場等排水の水質検査および検査の精度管理の実施。	R3年度：延べ371検体 R4年度：延べ401検体 R5年度：延べ428検体 R6年度：延べ440検体(見込) R7年度(見込)：未定	大津市 【大津市保健所衛生課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【琵琶湖レジャー利用適正化推進事業（外来魚対策、びわこルールキッズ事業分除く）】 環境負荷を低減を図るため、琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例（琵琶湖ルール）に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進。	R3年度： ・監視船によるプレジャーボートの取締日数22日 ・適合証交付件数 1,365件 ・航行規制水域取締員による監視日数67日 R4年度： ・監視船によるプレジャーボートの取締日数32日 ・適合証交付件数 1,377件 ・航行規制水域取締員による監視日数70日 R5年度： ・監視船によるプレジャーボートの取締日数29日 ・適合証交付件数 1,323件 ・航行規制水域取締員による監視日数78日 R6年度： ・監視船によるプレジャーボートの取締日数33日 ・適合証交付件数 1,170件 ・航行規制水域取締員による監視日数83日 R7年度（見込）： ・琵琶湖ルールに基づく琵琶湖のレジャー利用の適正化の推進 ・プレジャーボートの航行規制水域の遵守 ・適合原動機の使用と適合証表示制度の徹底	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【ごみ処理施設整備事業】 循環型社会形成推進交付金制度による市町廃棄物処理施設の整備やその支援を実施。	R3年度：マテリアルリサイクル施設2市、高効率ごみ発電施設1市、エネルギー回収型廃棄物処理施設1市、基幹的設備改良事業1一部事務組合、計画支援事業1市2一部事務組合 R4年度：マテリアルリサイクル施設1市、高効率ごみ発電施設1市、エネルギー回収型廃棄物処理施設1市、基幹的設備改良事業1一部事務組合、計画支援事業3市3一部事務組合 R5年度：マテリアルリサイクル施設1一部事務組合、高効率ごみ発電施設1市、エネルギー回収型廃棄物処理施設1市1一部事務組合、基幹的設備改良事業1一部事務組合、有機性廃棄物リサイクル推進施設1一部事務組合、計画支援事業1市 R6年度：マテリアルリサイクル施設1一部事務組合、高効率ごみ発電施設1市、エネルギー回収型廃棄物処理施設1一部事務組合、有機性廃棄物リサイクル推進施設1一部事務組合、計画支援事業1市1一部事務組合 R7年度（見込）：	市町/一部事務組合[環境省補助] 【循環社会推進課】
	【水質汚濁対策事業（環境政策課計上分除く）】 水質汚濁防止法の規定に基づき、公共用水域水質測定計画を策定し、公共用水域の常時監視および委託で実施している河川の水質調査について、分析精度の管理調査を実施。	R3年度～R7年度（見込）： ・公共用水域水質測定計画の策定 ・琵琶湖、流入河川での水質モニタリング（琵琶湖北湖 11地点 南湖 5地点 河川 19地点）（生活環境項目等（COD、T-N、T-P等）年12回、健康項目 年4回、要監視項目年 1回） ・R3年度から公共用水域水質測定計画の測定項目に「PFOS及びPFOA」を追加し、定期的な調査を開始。 ・分析精度管理調査	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
(2) 水源のかん養に関する事項			
① 水源林の適正な保全および管理			
	【保安林整備等管理事業（吸収源対策含む）】 保安林の指定、解除および関連調査を実施。	R3年度：600ha R4年度：355ha R5年度：260ha R6年度：139ha R7年度：600ha（見込）	林野庁/滋賀県[林野庁補助] 【森林保全課】
	【補助治山事業】 荒廃林地の復旧および予防、防災林の造成、保安林の機能回復、保健休養のための生活環境保全等の整備を実施。（うち水源森林再生対策事業）	R3年度：50件 R4年度：42件 R5年度：41件 R6年度：32件 R7年度：50件（見込）	滋賀県[林野庁補助] 【森林保全課】
	【単独治山事業】 治山施設の管理・新設、治山基礎調査、防災対策環境施設の新設を実施。	R3年度：19箇所 R4年度：23箇所 R5年度：36箇所 R6年度：21箇所 R7年度：29箇所（見込）	滋賀県/市町[滋賀県補助] 【森林保全課】
	【農地漁場水源確保森林整備事業】 特定の区域において、緊急かつ重点的に除間伐を実施するため、除間伐等の補助を実施。	R3年度：農地漁場水源確保森林整備 333ha 森林作業道 43,927m R4年度：農地漁場水源確保森林整備 319ha 森林作業道 45,180m R5年度：農地漁場水源確保森林整備 347ha 森林作業道 44,864m R6年度：農地漁場水源確保森林整備 291ha(速報値) 森林作業道 52,613m（速報値） R7年度：農地漁場水源確保森林整備 338ha 森林作業道：48,940m（見込）	市町/森林組合/生産森林組合/林業事業体/森林所有者[林野庁補助] 【森林保全課】
	【水源林保全巡視員の配置】 防災や獣害、水源林の整備状況をはじめとする様々な琵琶湖水源林保全上の問題を一元的に把握対応するため、水源の保全に必要な監視、パトロール、調査、指導、関係機関との連絡調整を実施。	R3年度：巡視員 5名、延べ活動日数：735日 R4年度：巡視員 5名、延べ活動日数：655日 R5年度：巡視員 5名、延べ活動日数：735日 R6年度：巡視員 5名、延べ活動日数：650日 R7年度：巡視員 5名、延べ活動日数：735日（見込）	滋賀県[林野庁補助] 【森林保全課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【森林整備地域活動支援交付金】 森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進するため、施業の集約化のために必要となる森林情報の収集、森林境界の確認等の地域活動に対して支援を実施。	R3年度：399.45ha R4年度：435.57ha R5年度：328.67ha R6年度：438.44ha R7年度（見込）：305ha	市町等[林野庁補助] 【森林政策課】
	【森林・山村多面的機能発揮対策交付金】 森林の有する多面的機能の発揮に向け、地域住民等による森林の保全管理活動等の取組を、市町村等の協力を得て支援。	R3年度：里山林保全タイプ 57.4ha 竹林整備タイプ 3.57ha、関係人口タイプ 1件 森林資源利用タイプ 11.2ha 森林機能強化タイプ 120m R4年度：里山林保全タイプ 46.0ha 竹林整備タイプ 1.67ha、関係人口タイプ 1件 森林資源利用タイプ 6.1ha 森林機能強化タイプ 430m R5年度：里山林保全タイプ 44.69ha 竹林整備タイプ 2.3ha、関係人口タイプ 1件 森林資源利用タイプ 7.7ha 森林機能強化タイプ 300m R6年度：活動推進費2団体、里山林保全タイプ 53.3ha 竹林整備タイプ 2.3ha、関係人口タイプ 2件 森林資源利用タイプ 7.9ha 森林機能強化タイプ 310m（見込） R7年度（見込）：未定	滋賀県地域協議会[滋賀県補助] 【びわ湖材流通推進課】
② 森林資源の循環利用による適切な森林整備の推進			
	【補助造林事業】 水源涵養機能・森林CO2吸収等森林の持つ公益的機能発揮に向けた森林整備および基盤整備を進めるため、人工造林、除間伐等の補助を実施。	R3年度：森林整備 737ha、路網整備 86,822m R4年度：森林整備 886ha、路網整備 81,230m R5年度：森林整備 700ha、路網整備 67,516m R6年度：森林整備 671ha、路網整備 64,378m(速報値) R7年度：森林整備 707ha、路網整備 137,079m（見込）	森林組合等[滋賀県補助] 【森林保全課】
	【農地漁場水源確保森林整備事業】（再掲） 特定の区域において、緊急かつ重点的に除間伐を実施するため、除間伐等の補助を実施。	R3年度：農地漁場水源確保森林整備 333ha 森林作業道 43,927m R4年度：農地漁場水源確保森林整備 319ha 森林作業道 45,180m R5年度：農地漁場水源確保森林整備 347ha 森林作業道 44,864m R6年度：農地漁場水源確保森林整備 291ha(速報値) 森林作業道 52,613m(速報値) R7年度：農地漁場水源確保森林整備 338ha、 森林作業道 48,940m（見込）	市町/森林組合/生産森林組合/林業事業者/森林所有者[林野庁補助] 【森林保全課】
	【森林を育む間伐材利用促進事業】 間伐材の搬出・利用を促進するため、加工業者に販売する場合の仕分け経費の補助や伐材搬出に対する補助、林業機械レンタルの助成を実施。	R3年度：県産材仕分け量 34,170m3、間伐材搬出道 417.2m、林業機械レンタル支援 4事業体 R4年度：県産材仕分け量 33,198m3、間伐材搬出道 513m、林業機械レンタル支援 7事業体 R5年度：県産材仕分け量 31,576m3、林業機械レンタル支援 4事業体 R6年度：県産材仕分け量 34,350m3、間伐材搬出道 200m、林業機械レンタル支援 3事業体 R7年度：県産材仕分け量 41,300m3、林業機械レンタル支援 5事業体（見込）	森林組合等[滋賀県補助] 【びわ湖材流通推進課、森林保全課】
	【補助林道事業】 健全な森林の維持造成するため、森林の適正な維持管理等にとって必要である林道の開設・整備を実施。	R3年度：林道開設 L=840m、林道改良 4箇所 点検診断・保全整備 37箇所 R4年度：林道開設 L=375m、林道改良 2箇所 点検診断・保全整備 38箇所 R5年度：林道開設 L=330.5m、林道改良 4箇所 点検診断・保全整備等 4箇所 R6年度：林道開設 L=472.1m、林道改良 1箇所、 点検診断・保全整備等 3箇所 R7年度：林道開設 L=156.9m、林道改良 3箇所、 点検診断・保全整備等 9箇所（見込）	滋賀県/市町/森林組合 [林野庁/滋賀県補助] 【森林保全課】
	【単独林道事業】 健全な森林の維持造成するため、森林の適正な維持管理等にとって必要である林道の開設・整備を実施。	R3年度：林道改良等 8箇所 R4年度：林道改良等 13箇所 R5年度：林道改良等 17箇所 R6年度：林道改良等 13箇所（見込） R7年度（見込）：未定	市町/森林組合[滋賀県補助] 【森林保全課】
③ 森林生態系の保全に向けた対策の推進			
	【湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業】 滋賀県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画で定める目標を達成し、農林業や森林生態系への被害を軽減するため、市町が行う捕獲に対する経費を助成。	R3年度～R7年度（見込）：ニホンジカの捕獲にかかる市町への補助。	市町[滋賀県補助] 【自然環境保全課】
	【鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業】 野生鳥獣により深刻化している農林業被害を防止するために被害防止計画に基づき市町が行う捕獲に対する経費を助成。	R3年度～R7年度（見込）：ニホンジカ、ニホンザル、イノシシの捕獲にかかる市町への補助	市町[農林水産省補助] 【自然環境保全課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【指定管理鳥獣捕獲等事業】 高標高域等の捕獲困難地において、利用密度が高く滞留するシカ個体群の捕獲および排除を実施。	R3年度：81頭 R4年度：52頭 R5年度：48頭 R6年度：19頭 R7年度（見込）：未定	滋賀県[環境省補助] 【自然環境保全課】
	【環境林整備事業】 放置された人工林における強度の間伐や密度調整を実施。	R3年度：327ha R4年度：324ha R5年度：240ha R6年度：217ha（見込） R7年度：175ha（速報値）	市町/森林組合[林野庁補助] 【森林保全課】
	【災害に強い森林づくり事業】 （旧里山リニューアル事業） 防災機能の低下した里山や放置された枯損マツ林、竹の侵入林、野生動物のかくれ家となる藪など早急に整備するため、市町と森林所有者等の協定による里山整備方針に基づき、「風倒木被害対策」と「緩衝帯整備」のいずれかによる整備を実施。	R3年度：里山防災整備 11.33ha、 緩衝帯整備 18.34ha R4年度：風倒木等被害対策 1.07ha、 里山防災整備17.47ha、 緩衝帯整備 16.76ha R5年度：風倒木等被害対策 1.39ha、 緩衝帯整備 11.61ha R6年度：風倒木等被害対策 0.74ha、 緩衝帯整備 16.87ha（速報値） R7年度：風倒木被害対策 4.0ha、 緩衝帯整備 10ha（見込）	市町[滋賀県補助] 【森林保全課】
	【林業試験研究】 森林・林業の振興のために必要な試験研究を実施。	R3～5年度：少花粉スギ、ヒノキ採種園造成、採種、 針葉樹特定簿樹の造成準備、 有用広葉樹遺伝子確保（種子） R6年度：少花粉スギ、ヒノキ採種園造成、採種 特定母樹閉鎖型採種園の管理技術者育成 有用樹遺伝子確保（育成、採種）（見込） R7年度（見込）：未定	森林組合等[滋賀県補助] 【びわ湖水流通推進課】
	④ 農地対策		
	【世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を支えるため、地域共同による農地・農業用水路等の保全管理活動、地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動等に対し、交付金を交付。	R3年度：対象組織数 547組織、 取組面積 35,993ha R4年度：対象組織数 531組織、 取組面積 35,704ha R5年度：対象組織数 534組織、 取組面積 36,004ha R6年度：対象組織数 509組織、 取組面積 35,205ha R7年度（見込）：518組織、35,311ha	活動組織[農林水産省/滋賀県補助] 【農村振興課】
	【中山間地域等直接支払交付金】 農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、その多面的機能を確保するため、中山間地域等で農業生産活動等を行う農業者に対して直接支払等を実施。	R3年度：11市町、176協定、2,289ha R4年度：11市町、180協定、2,538ha R5年度：11市町、182協定、2,576ha R6年度：11市町、182協定、2,580ha R7年度（見込）：未定	農業者の組織する団体等 [農林水産省] 【農村振興課】
	【棚田地域の総合保全対策事業】 過疎・高齢化や獣害の多発等により耕作放棄地の発生が懸念される棚田地域において、棚田の良好な保全および地域の活性化を図るため、「棚田ボランティア制度」による都市住民との共同作業を実施。	R3年度：棚田ボランティア実施地区 9地区、 棚田トラスト制度の運営、 棚田地域交流・研修会の開催 1回 R4年度：棚田ボランティア実施地区 9地区、 棚田ボランティア登録制度の運営、 棚田トラスト制度の運営、 全国棚田サミット開催支援、 たな友交流会の開催 1回 R5～6年度：棚田ボランティア実施地区 12地区、 棚田ボランティア登録制度の運営、 棚田トラスト制度の運営、 たな友交流会の開催 1回、 棚田地域交流・研修会の開催 1回 R7年度（見込）：棚田ボランティア実施地区 12地区、 棚田ボランティア登録制度の運営、 棚田トラスト制度の周知、 たな友交流会の開催 1回、 棚田地域交流・研修会の開催 1回	滋賀県[農林水産省補助] 【農村振興課】
	【ダム管理事業】 農業用水の安定的な供給を図るため、永源寺ダムの適切な維持管理を実施。	R3年度～R7年度（見込）：永源寺ダムの維持管理一式（各年度実施）	滋賀県[農林水産省補助] 【耕地課】
	【基幹水利施設管理事業】 基幹水利施設が有する、農業用排水の安定、農村地域の防災・環境保全等の機能を強化した管理事業へ助成。	R3年度～R7年度（見込）：9地区（各年度実施）	市町[農林水産省補助] 【耕地課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）】 農業水利施設が有する多面的機能の発揮に対応した管理体制の整備を図るため、多様な主体の参加を促し、非農家の管理へ参画する仕組みづくりや、各土地改良区間等のネットワーク作りを促進。	R3年度：24地区	滋賀県/市町〔農林水産省補助〕 【耕地課】
	【水利施設管理強化事業（一般型）】 農業水利施設が有する多面的機能の役割に応じて、施設管理者を支援し多面的機能の適正な発揮を図る。	R4年度：24地区 R5～R7年度：25地区	滋賀県/市町〔農林水産省補助〕 【耕地課】
	【県営農地防災事業】 ため池や用排水施設等の改修または補強を実施。	R3年度：ため池改修 5箇所、 用排水施設改修 5地区、 石綿管撤去改修 1地区、 農業用河川工作物改修 3地区、 調査計画 3地区、 ダム改修 1地区 R4年度：ため池改修 6箇所、 用排水施設改修 6地区、 石綿管撤去改修 1地区、 農業用河川工作物改修 4地区、 調査計画 3地区、 ダム改修 1地区 R5年度：ため池改修 11箇所、 用排水施設改修 7地区、 石綿管撤去改修 2地区、 農業用河川工作物改修 4地区、 調査計画 4地区 R6年度：ため池改修 16箇所、 用排水施設改修 7地区、 石綿管撤去改修 4地区、 農業用河川工作物改修 4地区、 調査計画 3地区 R7年度（見込）：ため池改修 18箇所、 用排水施設改修 7地区、 石綿管撤去改修 4地区、 農業用河川工作物改修 3地区、 調査計画 4地区	滋賀県〔農林水産省補助〕 【農村振興課】
⑤ その他の対策			
	【砂防事業】 流域における荒廃地域の保全、土石流による災害の防止するため、砂防設備を整備。	R3年度：堰堤工 49箇所 他 R4年度：堰堤工 53箇所 他 R5年度：堰堤工 46箇所 他 R6年度：堰堤工 64箇所 他 R7年度：堰堤工 62箇所 他（見込）	滋賀県〔国土交通省補助〕 【流域政策局】
	【急傾斜地崩壊対策事業】 急傾斜地の崩壊による災害の防止のため、急傾斜地崩壊防止施設の設置や急傾斜地の崩壊防止工事を実施。	R3年度：擁壁工等 27箇所 他 R4年度：擁壁工等 28箇所 他 R5年度：擁壁工等 26箇所 他 R6年度：擁壁工等 26箇所 他 R7年度：擁壁工等 24箇所 他（見込）	滋賀県〔国土交通省補助〕 【流域政策局】
(3) 生態系の保全および再生に関する事項			
①湖辺の自然環境の保全及び再生			
ヨシ群落の保全および再生	【ヨシ群落保全管理事業】 ヨシ群落保全条例によりヨシ群落の保全を図るとともに、ヨシ刈り等の維持管理事業やヨシ帯の造成により、ヨシ群落の維持、拡大を図る。	R3年度：ヨシ群落育成事業（ヨシ帯育成、維持管理 0.715ha、助成 8団体） R4年度：ヨシ群落造成事業、ヨシ群落育成事業（ヨシ帯育成、維持管理 0.6ha、助成 5団体） R5年度：ヨシ群落育成事業（県単独） 1式 R6年度：ヨシ群落造成事業、ヨシ群落育成事業（県単独） 1式 R7年度（見込）：未定	滋賀県〔環境省補助〕 【琵琶湖保全再生課】
	【ヨシ群落維持再生事業】 健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヨシ刈りやヤナギの伐採および清掃等の維持管理を実施。	R3年度：ヤナギ伐採 59本 R4年度：ヤナギ伐採 108本 R5年度：ヤナギ伐採 103本 R6年度：ヤナギ伐採 84本、ヨシ群落現況調査業務 1式 R7年度（見込）：ヤナギ伐採 120本	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【ヨシ群落保全】 ヨシ群落の保全に関する条例第9条に定めるヨシ群落保全基本計画に基づき保全区域内で実施するヨシ群落保全事業を支援。	R3年度～R7年度（見込）： 市町、自治体等が、ヨシ群落保全基本計画に基づく保全区域内で実施した、ヨシ群落保全事業に要した経費の1/3以内を交付	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【水産基盤整備事業】 造成後年数が経過した増殖場施設の現況機能の評価し、その回復手法を検討する。	R4年度：造成ヨシ帯の機能評価及び機能回復手法の検討 R5～6年度：浮産卵床の機能評価及び機能回復手法の検討	滋賀県〔水産庁補助〕 【水産課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
内湖等の保全 および再生	【内湖再生検討事業】 早崎内湖を再生し、湖辺域のビオトープの拠点にするともに琵琶湖生態系の保全を実施。	R3年度：地域主体型環境調査、水管理業務、 生物モニタリング調査 R4年度：地域主体型環境調査、水管理業務、 生物モニタリング調査、湛水地保全管理業務 R5年度：内湖環境整備工事、地域主体型環境調査、 水管理業務、湛水地保全管理業務、 南区詳細計画策定業務、南区測量業務 R6年度：地域主体型環境調査、水管理業務、 湛水地保全管理業務、南区詳細設計業務、 生物環境調査研究 R7年度（見込）：未定	滋賀県【環境省 補助】 【琵琶湖保全再生課】
	【補助河川環境整備事業】（再掲） 汚濁の著しい内湖や南湖の閉鎖性水域に流入する河川において水質改善対策を実施。	R3年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 護岸工・植栽工 R4年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 護岸工・植栽工 R5年度：赤野井湾 モニタリング調査、木浜内湖 植栽工 R6年度：赤野井湾 内湖拡幅、木浜内湖 浚渫工・覆砂工（見込） R7年度（見込）：未定	滋賀県【国土交通省 補助】 【流域政策局】
	【おもしろ下物ビオトープ水辺のにぎわい創生事業】 下物ビオトープをヨシやハスの観察、魚つかみ等の自然と触れ合う場として整備。	R3～R7年度（見込）：施設の維持管理委託、観察会	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【ヨシ群落保全管理事業】（再掲） ヨシ群落保全条例によりヨシ群落の保全を図るとともに、ヨシ刈り等の維持管理事業やヨシ帯の造成により、ヨシ群落の維持、拡大を図る。	R3年度：ヨシ群落育成事業（ヨシ帯育成、維持管理 0.715ha、助成 8団体） R4年度：ヨシ群落造成事業、ヨシ群落育成事業（ヨシ帯育成、維持管理 0.6ha、助成 5団体） R5年度：ヨシ群落育成事業（県単独） 1式 R6年度：ヨシ群落造成事業、ヨシ群落育成事業（県単独） 1式 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【西の湖水質改善実証モデル事業】 西の湖では、気候変動との関連が懸念されるアオコの発生が頻繁に見られ、水質の悪化が顕著となっている。そこで、気候変動の適応策として、西の湖をモデルにアオコの発生抑制や水質等の改善の実証実験を実施中。	R3年度：検討会を設置し、西の湖の水質改善対策を検討 R4年度：西の湖の水質改善に係る実証試験の実施 R5年度：西の湖の水質改善に係る実証試験の実施 R6年度：西の湖の水質改善に係る実証試験の実施 R7年度（見込）：西の湖の水質改善に係る実証試験の実施	滋賀県【R4から環境省補助】 【琵琶湖保全再生課】
	砂浜、湖岸、湖岸の緑地の保全および再生	R3年度～R7年度（見込）：維持管理面積157.51 ha（湖岸緑地北大津地区 他）（各年度実施）	滋賀県（県単） 【都市計画課】
砂浜、湖岸、湖岸の緑地の保全および再生	【湖岸緑地維持整備】 琵琶湖とその周辺におけるビオトープネットワークの形成や、自然環境の再生、保全に考慮した都市公園の維持管理を実施。	R3年度～R7年度（見込）：維持管理面積：42.5ha（びわこ地球市民の森）（各年度実施）	滋賀県（県単） 【都市計画課】
	【都市公園維持整備】 琵琶湖とその周辺におけるビオトープネットワークの形成や、自然環境の再生、保全に考慮した都市公園の維持管理を図る。	R3年度～R7年度（見込）：自然公園施設96ha、維持管理	滋賀県（県単） 【自然環境保全課】
	【自然公園等整管理】 自然公園の保全・活用に資する整備や維持管理を実施。	R3年度～R7年度（見込）：浚渫・草木伐開・維持補修（各年度実施）	滋賀県（県単） 【流域政策局】
	【みずべ・みらい再生事業（河川環境保全）】 琵琶湖につながる河川の適正な維持管理を実施。	R3年度：連節ブロック 0.71km R4年度：連節ブロック 1.94km R5年度：連節ブロック 1.18km R6年度：連節ブロック 1.14km（見込） R7年度（見込）：未定	滋賀県【国土交通省補助】 【流域政策局】
	【河川改修事業（多自然川づくり）】 河川が本来有している生物の生息環境に配慮した河川改修事業を実施。	R3年度：連節ブロック 0.71km R4年度：連節ブロック 1.94km R5年度：・マイアミ浜 突堤工 ・湖西圏域 湖岸保全対策施設設計、突堤工、養浜工、緩傾斜護岸工 R6年度：マイアミ浜 突堤工 湖西圏域 湖岸保全対策施設設計、突堤工、養浜工、緩傾斜護岸工（見込） R7年度（見込）：未定	滋賀県【国土交通省補助】 【流域政策局】
	【自然再生事業（砂浜保全）】 琵琶湖岸で侵食を受けている地区について、突堤、養浜、緩傾斜護岸工等の工法を組み合わせ砂浜の保全・復元を実施。	R3年度～R7年度（見込）：湖岸モニタリング調査等（新海浜等）	滋賀県（県単） 【流域政策局】
	【みずべ・みらい再生事業（湖岸保全整備事業）】 湖岸の自然的環境・景観保全を図るため、琵琶湖岸の砂浜侵食防止対策を実施。		

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
②外来動植物による被害防止			
外来動植物全般の対策	【外来生物防除対策事業】 県民や NP0、市町等の多様な主体と協働で、侵入した外来生物の拡大を阻止する。	R3年度～R4年度： オオパナミズキンバイ等の駆除活動に取り組むボランティア団体等への支援、外来生物に関する普及啓発 R5年度～R7年度（見込）： 外来生物（オオパナミズキンバイ等侵略的外来水生植物を含む）に関する普及啓発や活動支援	滋賀県、ボランティア等 【自然環境保全課】
外来動物対策	【有害外来魚ゼロ作戦事業】 在来魚に食害をおよぼす外来魚の駆除と繁殖抑制により、琵琶湖の水産資源の回復を図るため、漁業者による外来魚の駆除と回収処理に対する支援や電気ショックカーポートによる産卵期集中駆除、県が操業禁止期間等に漁船を備船して行う駆除、瀬田川洗堰上流で急増しているチャネルキャットフィッシュの駆除を実施。	R3年度：98.2 t R4年度：98.0 t R5年度：80.0 t R6年度：72.3 t R7年度（見込）：70 t	滋賀県/滋賀県漁業協同組合連合会[滋賀県/全国内水面漁業協同組合連合会/(独)水産総合研究センター 補助]【水産課】
	【外来魚駆除対策研究】 外来魚（オオクチバス、ブルーギル、チャネルキャットフィッシュ）の効率的な駆除技術の開発のため、試験研究を実施。	R3年度～R4年度： 外来魚の駆除量増大技術開発研究 新たな外来魚の拡散防止および効率的駆除技術開発研究 R5年度～R6年度： 1 外来魚の駆除量増大技術開発研究 (1) 外来魚生息状況の把握 (2) 駆除量増大技術の開発 (3) 捕獲状況の評価と蛸集情報活用手法の検討 2 特定外来生物チャネルキャットフィッシュ拡大防止対策研究 (1) 琵琶湖での拡大防止対策研究 (2) 瀬田川下流における駆除対策研究 R7年度（見込）：未定	滋賀県[水産庁委託]【水産課】
	【びわこルールキッズ事業】 全国の小中学生を対象に、夏休み期間中に外来魚のノーリリリースに協力してもらえ『びわこルールキッズ』を募集し、登録会を兼ねて釣り大会を開催するとともに成果報告のあったキッズの中から匹数により表彰。	R3年度：びわこルールキッズへの参加者265人 R4年度：びわこルールキッズへの参加者443人 R5年度：びわこルールキッズへの参加者309人 R6年度：びわこルールキッズへの参加者381人 R7年度（見込）：小中学生を対象としたびわこルールキッズ事業を実施	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【琵琶湖レジャー利用適正化推進事業】 琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例（琵琶湖ルール）に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進。	※外来魚対策のみ抜粋 R3年度：回収ボックス63基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 開催なし 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等12団体403人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数114人 R4年度：回収ボックス62基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数825人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等15団体1,058人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数110人 R5年度：回収ボックス61基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数955人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等17団体1,410人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数98人 R6年度：回収ボックス59基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数217人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等25団体2,788人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数120人 R7年度（見込）：各種取り組みを実施	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
外来植物対策	【侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業】 国が実施する防除事業や市町、県研究機関などとの連携や生態解明による効果的かつ効率的な駆除方法の確立と駆除を実施。	R3年度：外来水生植物の駆除や総会の開催等（県補助金事業含む） 駆除重量：118.8t、総会開催：2回 R4年度：外来水生植物の駆除や総会の開催等（県補助金事業含む） 駆除重量：41.0t、総会開催：2回 R5年度：外来水生植物の駆除や総会の開催等（県補助金事業含む） 駆除重量：241.1、総会開催：2回 R6年度：外来水生植物の駆除や総会の開催等（県補助金事業含む） 駆除重量：集計中、総会開催：2回 R7年度（見込）：未定	琵琶湖外来水生植物対策協議会[環境省/滋賀県補助]【自然環境保全課】
	【生物多様性保全回復整備事業】 国が実施する防除事業や市町、県研究機関などとの連携を行いつつ駆除を実施。	R3～R4年度：侵略的外来水生植物の巡回・監視の実施 R5年度：侵略的外来水生植物の駆除困難箇所への遮光シートの敷設等の施設整備と、施設整備箇所を中心とした巡回・監視・早期駆除の実施（R5年で終了）	滋賀県[環境省補助]【自然環境保全課】
	【外来水生植物駆除】 彦根市内の湖岸、河川等におけるナガエツルノゲイトウやオオパナミズキンバイ等の外来水生植物の駆除活動の実施。	R3年度～R4年度：関係者による駆除活動、パネル展示や広報紙などの啓発活動、出前講座による周知・啓発 R5年度～R7年度（見込）：関係者による駆除活動、パネル展示や広報紙などの啓発活動	彦根市、滋賀県立大学、ボランティア等【彦根市生活環境課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
③カワウによる被害防止等			
	【カワウ銃器捕獲モデル事業】 住宅近くでの銃器捕獲の課題を整理し、安全管理に関するマニュアルを作成することを目的として、試行的に銃器捕獲の実証および銃器捕獲による影響のモニタリング調査。	R5年度～R6年度：高島市で捕獲を実施、マニュアルの作成及びモニタリング調査 R7年度（見込）：未定 R5年度から開始	滋賀県〔農林水産省補助（R5）〕、〔環境省施行委任（R6～）〕 【自然環境保全課】
	【琵琶湖竹生島タブノキ林の保全・再生事業】 カワウ生息数を低位で維持するための個体数調整、タブノキ育成と管理歩道の整備、サギ類の営巣対策、特定外来種の防除活動、学習活動等に取組むとともに、今後の竹生島における生物多様性の確保に向けた管理体制の検討や計画の策定を実施。	R3年度～R7年度（見込）： カワウ銃器捕獲、管理歩道補修、植生被害モニタリング調査、タブノキ林再生事業（各年度実施）	竹生島タブノキ林の保全・再生事業推進協議会〔環境省/滋賀県補助〕 【長浜市農業振興課】
	【新規コロニー等拡大防止カワウ対策事業】 新たに形成されたコロニー等において、早期対応が効果的であることから、銃器による捕獲を実施。	R3年度～R4年度：長浜市、高島市で実施 R5年度：彦根市、長浜市で実施 R6年度：彦根市、長浜市でカワウ対策を実施 R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【自然環境保全課】
	【カワウ漁業被害防止対策事業】 カワウの食害による漁業被害を軽減させるため、営巣地においてカワウの捕獲を行うとともに、飛来地において花火や防鳥糸等による被害防除を実施。	R3年度：漁場に飛来するカワウの捕獲・追い払い R4年度：漁場に飛来するカワウの追い払い R5～7年度（見込）：漁場に飛来するカワウの捕獲・追い払い	滋賀県/市町/滋賀県漁業協同組合連合会/滋賀県河川漁業協同組合連合会〔農林水産省/滋賀県〕 【水産課】
④水草の除去等			
水草の除去等	【水草刈取事業（琵琶湖保全再生課）】 ・生活環境や船舶の航行に支障がある等、緊急性や公共性の高いところから重点的に表層刈取りを実施。 ・南湖の湖流促進等を図り、水草の根こそぎ除去を実施。 ・水草を堆肥化し、県民を対象とした無料配布を実施。 ・企業や大学等から水草の有効利用について新たな技術の提案を募集し、開発や研究の支援を実施。	R3年度： 表層部（1.5m）の水草刈取事業 刈取量2,062 t 根こそぎ刈り取り事業 面積700ha 水草堆肥の県民への配布 0㎡(中止) 有効利用についての開発や研究への支援 5団体 R4年度： 表層部（1.5m）の水草刈取事業 刈取量1,685 t 根こそぎ刈り取り事業 面積700ha 水草堆肥の県民への配布 296㎡ 有効利用についての開発や研究への支援 4団体 R5年度： 表層部（1.5m）の水草刈取事業 刈取量1,756 t 根こそぎ刈り取り事業 面積700ha 水草堆肥の県民への配布 191㎡ 有効利用についての開発や研究への支援 5団体 R6年度：表層部（1.5m）の水草刈取事業、根こそぎ刈り取り事業、水草堆肥の県民への配布、有効利用についての開発や研究への支援 R7年度（見込）：表層部（1.5m）の水草刈取事業、根こそぎ刈り取り事業、水草堆肥の県民への配布、有効利用についての開発や研究への支援	滋賀県〔内閣府補助〕 【琵琶湖保全再生課】
	【水草刈取事業（下水道課）】 中間水路（矢橋帰帆島周辺）において、水草刈取り船（ハーベスター）により水深1.5mまでの水草の刈り取りおよび根こそぎ除去を実施。	R3年度：ヒシ表層刈取44,000㎡、ヒシ根こそぎ刈取39,000㎡ R4年度：ヒシ表層刈取40,000㎡、ヒシ根こそぎ刈取80,000㎡ R5年度：ヒシ表層刈取30,000㎡、ヒシ根こそぎ刈取82,000㎡ R6年度：ヒシ表層刈取20,000㎡、ヒシ根こそぎ刈取80,000㎡ R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【下水道課】
	【水草刈取事業（流域政策局）】 異常繁茂した水草により、湖流の停滞が生じる事を防止し、琵琶湖南湖における健全な生物生息空間を再生するため、水草の刈り取りを実施。	R3年度～R7年度（見込）：根こそぎ刈取30ha（各年度実施）	滋賀県〔国土交通省補助〕 【流域政策局】
	【水草刈取事業（下水道課）】 彦根旧港湾（彦根市）において生活環境の保全、景観保護のため、異常繁殖している水草を除去。	R3年度～R7年度（見込）：水草除草工：22,000㎡（各年度実施）	滋賀県(県単) 【下水道課】
湖岸漂着ごみ等の処理	【散在性ごみ対策事業】 ごみの投捨てによる散乱を防止することにより美観の保持および琵琶湖その他の水域の水質保全に努め、快適でさわやかな県土をつくり上げることを目的として、環境美化監視員を設置し、監視・パトロール、指導、啓発等を実施。	R3年度～R6年度 環境美化監視員の設置（7名）、ごみの散乱防止に係る監視・パトロール・指導・啓発、台風通過後の湖岸漂着物状況調査（各年度実施） R7年度（見込み） 環境美化監視員の設置（6名）、ごみの散乱防止に係る監視・パトロール・指導・啓発、台風通過後の湖岸漂着物状況調査（各年度実施）	滋賀県（県単） 【循環社会推進課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【漂着ごみ等処理事業】 台風や豪雨等による出水により琵琶湖に流れ込み、治水上支障となる漂着ごみ等の処理を実施。	R3年度～R7年度（見込）：漂着ごみ等処理（随時）（各年度実施）	滋賀県（県単） 【流域政策局】
	【ダム管理事業（流木等の除去）】 流木が琵琶湖に漂着しないように、ダム湖で流木を捕捉し回収を実施。	R3年度～R7年度（見込）：流木撤去（随時）（各年度実施）	滋賀県（県単） 【流域政策局】
	【環境保全県民活動支援事業】 環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るため、「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」に定められている環境美化の日を基準とした環境美化活動等を実施。（実施区域の一部に湖岸および河川を含む）	R3年度：参加人数172,321人、収集したごみの量 848 t R4年度：参加人数194,802人、収集したごみの量 897 t R5年度：参加人数197,019人、収集したごみの量 855 t R6年度：参加人数162,387人、収集したごみの量 702 t R7年度（見込）：環境美化活動の実施	滋賀県、市町、美しい湖国をつくる会[滋賀県補助] 【循環社会推進課】
	【しがプラスチックチャレンジプロジェクト】	R5～R7年度： ・県庁舎に給水機を設置し、職員や県民の一層のマイボトルの持参・プラスチックごみの削減を促進している。	滋賀県(単独) 【循環社会推進課】
	【琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究】 琵琶湖流域におけるプラスチックの動態を把握するため、その収支を明らかにするとともに、プラスチックの成分調査から主たる起源を明らかにする。また得られた科学的情報の発信にあたり必要な配慮事項を提示。	R5年度： ・陸域・河川におけるプラスチック量の調査 3地点 ・湖内におけるプラスチック量の調査 4地点 ・プラスチックごみに対する意識を把握するワークショップ 5回 R6年度： ・陸域・河川におけるプラスチック量の調査 4～5地点 ・湖内におけるプラスチック量の調査 4地点 ・プラスチックごみに対する意識を把握するWebアンケート 1回 R7年度（見込）：未定 R5年度から開始	滋賀県(単独) 【琵琶湖環境科学研究センター】
	湖底の耕うん、砂地の造成等	【水産基盤整備事業（覆砂）】 セタジミの産卵繁殖場となる砂地を回復させ、水産資源の増大を図るため、かつて主要漁場であった南湖において、砂地造成。	R3年度：3.75ha R4年度：4.5ha R5年度：5.25ha
【水産多面的機能発揮対策事業】 漁場環境の改善に取り組む漁業者を中心とした活動組織が実施する、造成した砂地等での湖底耕うんを支援。		R3年度：188ha R4年度：188ha R5年度：188ha R6年度：209ha	滋賀県 [水産庁 補助] 【水産課】
【水産振興企画調整費】 南湖窪地に対するプロジェクトに向けて、外部有識者からの情報・助言を得ながら南湖窪地の埋戻しや平坦化等を簡便かつ低コストで実施できる手法等を協議する検討会を実施。		R3年度：窪地の現状把握や改善手法の整理により南湖湖底環境改善事業の具体化を検討	滋賀県（県単） 【水産課】
⑤ 生物多様性の保全の推進			
	【野生生物生息状況調査】 野生生物が直面する危機をモニタリングして、5年ごとにレッドデータブック「滋賀県で大切にすべき野生生物」の見直しを行うため、状況追跡が必要な野生生物の調査を随時実施。	R3年度～R6年度（見込）：「滋賀県で大切にすべき野生生物」に記載された野生生物のうち状況追跡が必要なものについて調査を実施 R7年度（見込）：滋賀県で大切にすべき野生生物（2025年版）を策定	滋賀県（県単） 【自然環境保全課】
	【生物多様性しが戦略推進事業】 「生物多様性しが戦略2024」に基づき、企業等による保全地域の拡大等に向け、意見交換会の開催や経済的インセンティブの導入に係る検討を進める。	R3年度：しがが生物多様性取組認証制度38者 R4年度：しがが生物多様性取組認証制度12者 R5年度：しがが生物多様性取組認証制度13者 R6年度：しがが生物多様性取組認証制度 8者	滋賀県（県単） 【自然環境保全課】
⑥ 陸水域における生物生息環境の連続性の確保			
	【童子川・家棟川・中ノ池川にビワマスに戻すプロジェクト】 ビワマスが琵琶湖から遡上、産卵、繁殖できる河川環境を整えるため、市民・市民団体・企業・行政が協働による取組を実施。	R3年度～R7年度（見込）： ・河川清掃活動 ・産卵床造成 ・ビワマスフォーラムの開催 ・稚魚調査	家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスに戻すプロジェクト（NP0法人家棟川流域観光船、地元自治会、地元環境活動団体、TOTO株式会社、野洲市、滋賀県）【琵琶湖保全再生課、野洲市環境課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究】 琵琶湖流域における喫緊の課題である「在来魚介類の減少」に対して、県立試験研究機関と連携し、流域環境や底質環境、物質循環の視点から、その減少要因の解明と在来魚介類の復活に向けた政策提案を実施。	R3年度： ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集の作成 ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集に基づく新たな湖辺環境改善活動の展開 ・養浜実施の有無による生物・底質の現状比較調査 ・イワナ、アユ、ビワマス等の産卵環境の再生回復策の検討 ・森からの土砂流出量の評価 ・新大宮川や愛知川での多様な主体による小さな自然再生の活動支援 R4年度： ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集に基づく実装段階としての湖辺環境改善活動の展開 ・森林流出土砂の質と量に関する統計解析 ・河川における粒径等に関する統計解析 ・河床材の粒径分布等の環境解析 ・家棟川等の小さな自然再生の要点の定性的解析	滋賀県〔内閣府、環境省補助〕 【琵琶湖環境科学研究センターなど】
(4) 景観の整備および保全に関する事項			
① 琵琶湖を中心とした景観の整備及び保全			
	【県土修景保全対策の推進】 滋賀県景観行政団体協議会等において、湖辺の広域的景観の形成について協議・情報交換を実施。	R3年度：滋賀県景観審議会および広域的景観形成検討専門部会の開催（審議会1回、広域的景観形成検討専門部会2回）、滋賀県景観行政団体協議会の開催 R4年度：滋賀県景観審議会および広域的景観形成検討専門部会の開催（専門部会1回）、滋賀県景観行政団体協議会の開催 R5年度：滋賀県景観審議会および広域的景観形成検討専門部会の開催（審議会2回、専門部会2回）、滋賀県景観行政団体協議会の開催 R6年度：滋賀県景観審議会および広域的景観形成検討専門部会の開催（審議会1回、専門部会2回）、滋賀県景観行政団体協議会の開催 R7年度（見込）：滋賀県景観審議会および広域的景観形成検討専門部会の開催、滋賀県景観行政団体協議会の開催	滋賀県（県単） 【都市計画課】
② 文化的景観の保存および整備			
	【重要文化的景観保護推進事業】 琵琶湖の内湖である西の湖及びその周辺の貴重な文化的景観を保護するための調査及び重要な構成要素の保存修理を実施。	R5～R7年度： 保存修理を実施	近江八幡市〔文化庁補助〕 【近江八幡市文化振興課】
	【文化的景観保護推進事業】 湖岸3地域的重要文化的景観選定地において、景観・環境維持のための整備計画策定および調査を実施し、文化的景観の整備・保全を実施。	R3年度：重要文化的景観地域魅力向上事業の委託、重要文化的景観整備活用委員会の運営、海津石積み、円光寺山門、大溝陣屋総門の修理 R4年度：重要文化的景観整備活用委員会の開催、重要な構成要素の修理、各文化的景観選定地域のまちづくり協議会への支援 R5年度：重要文化的景観整備活用委員会の開催、重要な構成要素の修理、重要な構成要素の整備事業、各文化的景観選定地域のまちづくり協議会への支援 R6年度：重要文化的景観整備活用委員会の開催、重要な構成要素の整備事業、各文化的景観選定地域のまちづくり協議会への支援 R7年度（見込）：未定	高島市 〔文化庁補助〕 【高島市文化財課】
	【文化的景観保護推進事業】 伊庭内湖の自然環境と一体となった保存継承されてきた文化的景観を保全するため、集落の景観を保存継承するため、重要な構成要素の保存修理を実施。	重要な構成要素修理 R3年度：7件 R4年度：3件 R5年度：2件 R6年度：1件（見込） R7年度（見込）：未定	東近江市 〔文化庁補助〕 【東近江市歴史文化振興課】
(5) 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項			
① 環境に配慮した農業の普及とその他琵琶湖の環境と調和のとれた産業の振興			
環境に配慮した農業の普及	【環境保全型農業直接支払交付金】 農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るために、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動を支援。	R3年度：交付金対象取組面積12,741ha R4年度：交付金対象取組面積12,536ha R5年度：交付金対象取組面積12,403ha R6年度：交付金対象取組面積12,345ha	市町〔農林水産省/滋賀県補助〕 【みらいの農業振興課】
	【オーガニック農業等産地育成事業】 環境こだわり農業のブランド力向上を図り、琵琶湖と共生する本県農業の健全な発展に資するため、環境こだわり農業の柱の一つとしてオーガニック農業を推進。	R4年度：乗用型水田除草機の導入、有機JAS認証取得支援補助、有機栽培研修会等の開催、市町のオーガニック農業の産地づくり支援、販路開拓の支援 R5年度：乗用型水田除草機の導入、有機JAS認証取得支援補助、有機栽培研修会等の開催、市町のオーガニック農業の産地づくり支援 R6年度：有機農業をすすめる人材育成、普及促進、有機農業への転換推進、有機JAS認証の取得支援、オーガニック等栽培技術の調査・研究、オーガニック農業モデル地区の創出 R7年度（見込）：オーガニック農業拡大に向けた体制整備、オーガニック農業モデル地区の創出拡大	滋賀県、近江米振興協会〔滋賀県補助〕 【みらいの農業振興課】
	【オーガニック米生産拡大事業】 乗用型除草機の導入や有機JASの認証取得支援を行う他、栽培技術の普及に向け	R3年度：乗用型水田除草機の導入支援補助、有機JAS認証取得支援補助、実演会、研修会の開催等 ※R4年度から「オーガニック近江米等産地育成事業」に統合	農業者等、滋賀県〔滋賀県補助〕 【みらいの農業振興課】
	【オーガニック米等販路開拓事業】 関係団体と連携のもとオーガニック米等の県域規模での新たな販売ルートを確立し、滋賀ならではの高付加価値米としての市場開拓を実施。	R3年度：検討会議の開催、商談会への出展、販路開拓マネージャの設置、「オーガニック近江米」米袋作成補助 ※R4年度から「オーガニック近江米等産地育成事業」に統合	近江米振興協会、米卸売事業者、滋賀県〔内閣府、滋賀県補助〕 【みらいの農業振興課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト】 「魚のゆりかご水田」をはじめとする豊かな生きものを育む水田の取組拡大に向けて、取組に係る啓発・情報発信資材の作成および取組組織間での技術や情報の共有等を行う「琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会」に対する支援を実施。	R3年度、R4年度：水田での生物調査、魚のゆりかご水田米のPR活動、 R5年度、R6年度：魚道設置支援、水田での生きもの調査の実施、魚のゆりかご水田米認証業務の実施、魚のゆりかご水田米のPR活動 R7年度（予定）：魚道設置支援、水田での生きもの調査の実施、魚のゆりかご水田米認証業務の実施、魚のゆりかご水田米のPR活動	琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会 [滋賀県補助] 【農村振興課】
	【魚のゆりかご水田推進プロジェクト事業】 魚のゆりかご水田プロジェクトに取り組む組織の活動を支援。	R3年度：魚のゆりかご水田米認証にかかる現地調査 R4年度：魚道設置支援、認証業務を実施、認証面積 107.3ha ※R5年度以降は「琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト」に統合	滋賀県（県単） 【農村振興課】
	【県営かんがい排水事業】 農業用排水路等の農業生産基盤の保全や整備を実施。	R3年度：19地区 R4年度：20地区 R5年度：20地区 R6年度：18地区 R7年度：20地区（見込）	滋賀県[農林水産省補助] 【耕地課】
	【県営経営体育成基盤整備事業】 農業生産を担う経営体への農地の利用集積を推進、大規模な農業経営の実現を図るため、農地の区画整理や老朽化した末端農業用排水施設の更新・整備を実施。	R3年度：4地区 R4年度：16地区 R5年度：20地区 R6年度：21地区 R7年度：20地区（見込）	滋賀県[農林水産省補助] 【耕地課】
	【県営中山間地域総合整備事業】 耕作放棄に伴う悪影響の除去又は耕作放棄地の利活用を通じた国土・環境の保全と、優良農地を保全するための区画整理等を実施。	R3年度：3地区 R4年度：2地区 R5年度：2地区 R6年度：2地区 R7年度：2地区（見込）	滋賀県[農林水産省補助] 【耕地課】
	【団体営かんがい排水事業】 農業用排水路等の農業基盤の保全や整備を実施。	R3年度～R7年度（見込）： 農業用排水路等の農業基盤の保全や整備一式	市町/土地改良区[農林水産省、滋賀県補助]【耕地課】
	【家畜ふん堆肥利用促進総合対策事業】 家畜ふん堆肥の生産者と需要者の情報を拡充するとともに、ペレット堆肥の安定生産供給に向けての可能性調査。	R4年度：原料堆肥分析 12検体 R5年度：実績なし	滋賀県（県単） 【畜産課】
	【家畜ふん堆肥マッチング推進事業】 畜産農家が、新たに家畜ふん堆肥を耕種農家とマッチングした場合、新たな供給量に対する経費を畜産農家に補助。	R4年度：新たな供給量 1,224.3 t R5年度：新たな供給量 704.2 t R6年度：新たな供給量 1,570.9 t	滋賀県（県単） 【畜産課】
	【県産飼料用稲わら利用拡大事業】 環境に配慮した農業の普及の一環として、耕畜連携の取組を進化させるため、稲わらの収集を行ったほ場に、堆肥の散布を行った場合に支援。	R7年度：新たに稲わらの収集と家畜ふん堆肥の交換を行った面積 50ha（見込） <R7年度新規事業>	滋賀県（県単） 【畜産課】
	【世界農業遺産プロジェクト推進事業】 県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐため、「世界農業遺産」の認定に向けた取組を推進。	R3年度～R5年度（累計施策） ：「世界農業遺産」の認定記念式典出席、シンポジウムの開催（2回） 認定記念イベントの開催（3回）、イベントなどのPR活動および啓発資材作成、県産食材を用いたグルメ開発、SNSを活用した魅力発信、出前講座の実施（53件）、小学生学習教材（デジタルブック・プロモーション動画）の制作、「琵琶湖システム」ロゴマークの活用（177件） R6年度 ：認定記念イベントの開催（1回）、イベントなどのPR活動および啓発資材作成、県産食材を用いたグルメ開発メニューの展開、SNSを活用した魅力発信、出前講座の実施（47件）、「琵琶湖システム」ロゴマークの活用（51件） R7年度（見込み） ：イベントなどのPR活動および啓発資材作成、県産食材を用いたグルメ開発メニューの展開、SNSを活用した魅力発信、出前講座の実施、「琵琶湖システム」ロゴマークの活用、「琵琶湖システム」地域活動支援（補助金）	滋賀県[内閣府] 【農政課】
	【世界に誇る近江の宝「琵琶湖システム」まるわかり事業】 令和4年7月の「世界農業遺産」の認定を契機として、県産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。	R5年度：世界農業遺産「琵琶湖システム」を発信するテレビ番組の制作	滋賀県[内閣府] 【農政課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
山村の再生と 林業の成長産業化	【都市農村交流事業】 農村交流の受入体制の整備、各活動の魅力の向上を図るため、研修会の開催や交流体験メニューの開発充実、情報発信を実施。	R3年度：HPの刷新、情報発信一式 R4、5年度：HPの内容充実と情報発信 一式、農泊推進に向けた研修会およびネットワーク組織構築にかかる説明会の開催 R6年度：HPの多言語対応と情報発信、農泊推進に向けた研修会およびネットワーク組織の構築による県域での情報共有や交流の強化 R7年度：HPの内容充実と情報発信、PRの強化や農泊推進に向けた研修会の開催、県域ネットワーク組織における情報共有や交流の強化	滋賀県/市町[農林水産省補助] 【農村振興課】
	【山と農のにぎわい創出事業】 農地等の地域資源の保全や、地域資源を観光資源として磨き上げつつ「農泊」を推進することにより、所得の向上や地域コミュニティの活性化を図るため、集落と多様な主体が連携・活動するための体制整備を支援。	R3年度：モデル地域（継続地区）に対する助言指導。地域の実情に応じて実施。	滋賀県（県単） 【農村振興課】
	【獣害総合対策推進事業】 鳥獣による農作物被害を抑えるため、侵入防止柵の設置等を進める市町（協議会）を支援するとともに、新技術の現地実証・普及や、専門的知識を有する人材の育成を通して、地域の被害に応じた獣害対策を促進。	R3年度：野生獣による農作物への被害発生集落数： 317集落 R4年度：17市町協議会に対する支援（交付金交付） 新技術の現地実証 1技術 R5年度：17市町協議会に対する支援（交付金交付） 新技術の現地実証 2技術 R6年度：17市町協議会に対する支援（交付金交付） 新技術の現地実証 2技術 R7年度：17市町協議会に対する支援（交付金交付） 新技術の現地実証 2技術（見込）	滋賀県/鳥獣被害防止対策協議会/市町[農林水産省補助] 【みらいの農業振興課】
	【「やまの健康」推進事業費】 森林・林業・山村を一体的に捉え、琵琶湖を取り巻く森林・農地が適切に管理されるとともに、農山村の価値や魅力に焦点を当て、地域資源を活かしたモノ・サービスなどによって経済循環や県民全体との関わりをつくることで、農山村が活性化している姿を実現。	R3年度：5つのモデル地域における活動の支援、県民向け啓発活動実施、森林サービス産業ニーズ・資源調査実施 R4年度：モデル地域での地域資源を活かした取り組みを支援、主にモデル地域での成果を活かした地域の情報発信、県内での森林サービス産業創出支援 R5年度：SNS等を活用した「やまの健康」の普及啓発、企業がやまと関わるためのメニュー整備や体制づくり R6年度：SNS等を活用した「やまの健康」の普及啓発、滋賀県版企業の森づくりの推進 R7年度：滋賀県版企業の森づくりの推進、中小から大企業までより多くの企業が簡単に「やま」へ関わるができる仕組みを創設（見込）	滋賀県（県単） 【森林政策課】
	【しがの林業・木材産業強化対策事業】 森林組合の経営を強化し、素材生産体制の強化を図る。また地域で生産されたA材が地域で有効利用される仕組みの構築、B材を中心とした県外大型需要に対応した流通体制の整備を支援。	R3年度～R7年度（見込）： 川上における生産力の強化、A・B・C材の流通、販売の強化に対する支援、県産材製品の供給の推進	県産材生産流通ネットワーク協議会、県産材地域連携協議会他[滋賀県補助]【びわ湖材流通推進課】
	【森林を育む間伐材利用促進事業】（再掲） 間伐材の搬出・利用を促進するため、加工業者へ販売する場合の仕分け経費を補助、間伐材搬出に対する補助、林業機械レンタルを助成。	R3年度：県産材仕分け量 34,170m3、間伐材搬出道 417.2m、林業機械レンタル支援 4事業体 R4年度：県産材仕分け量 33,198m3、間伐材搬出道 513m、林業機械レンタル支援 7事業体 R5年度：県産材仕分け量 31,576m3、林業機械レンタル支援 4事業体 R6年度：県産材仕分け量 34,350m3、間伐材搬出道 200m、林業機械レンタル支援 3事業体 R7年度：県産材仕分け量 41,300m3、林業機械レンタル支援 5事業体（見込）	滋賀県（県単） 【びわ湖材流通推進課、森林保全課】
	【森林・林業人材育成事業】 林業の既就業者および市町職員を対象に即戦力となる人材の育成を目的として新たな研修機関を開講し運営するとともに、より高度で濃密な研修(教育)を実施。	R3年度：既就業者コース（9班29名）、新規就業者コース（5名）、市町職員コース（12市町） R4年度：既就業者コース（1班）、新規就業者コース（4名 149日）、市町職員コース（12市町、82人、10日） R5年度：既就業者コース（2班）、新規就業者コース（6名、159日）、市町職員コース（14市町、46人、9日） R6年度：既就業者コース（2班）、新規就業者コース（6名）、市町職員コース（19市町）（見込） R7年度：未定	滋賀県（県単） 【びわ湖材流通推進課】
	【未来へつなぐ木の良さ体感事業】 びわ湖材の利用に対する県民、事業者および市町の理解促進と利用拡大を図るため、住宅や公共施設の木造化・木質化をはじめ、県産材の製品開発、産地証明、木質バイオマス利用等の取組に対して支援。	R3年度～R5年度（見込）： 県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進等の支援、木育のビジネス化に向けた支援、未利用材の利活用、木質バイオマスの地域循環の促進（各年度実施） R6年度：県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進、木育拠点施設整備の推進、未利用材の利活用 R7年度（見込）：未定	市町/学校法人/社会福祉法人/県産木材活用推進協議会他[滋賀県補助] 【びわ湖材流通推進課】
	【林業労働力確保支援センター事業】 林業労働力の確保を図るため、雇用管理の改善や事業の合理化等の取り組みを林業労働力確保支援センターを通じて支援。	R3年度～R7年度（見込）： 林業労働力育成協議会開催（各年度実施）	滋賀県林業労働力確保支援センター[林野庁補助] 【びわ湖材流通推進課】
	【林業雇用環境改善事業】（～R6） 【林業従事者サポート事業】（R7～） 林業従事者の雇用環境の改善等を図るため、雇用環境の改善や担い手育成などを行う森林組合や民間林業事業体等を支援。	R3年度～R7年度（見込）： 林業就業環境の改善を目的に各種厚生事業の掛金を助成	滋賀県森林組合連合会/森林組合/林業事業体 【びわ湖材流通推進課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
琵琶湖の環境と調和のとれた産業の振興	【滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業】 産学官民連携のプラットフォームである「しが水環境ビジネス推進フォーラム」の活動を基盤として、高い成長が見込まれるアジア市場を重点にビジネスプロジェクトの創出・展開を図るため、県内企業が行う実現可能性調査や実証実験等を支援。また、国内外の見本市への出展に加え、海外の水環境ビジネス企業の招聘を行うなど、販路開拓支援を強化。	R3年度： ・見本市出展ブースでの相談・商談件数 425件 ・ビジネスマッチング件数 15件 ・ビジネスプロジェクト創出件数 4件 R4年度： ・見本市出展ブースでの相談・商談件数 266件 ・ビジネスマッチング件数 5件 ・ビジネスプロジェクト創出件数 3件 R5年度： ・見本市出展ブースでの相談・商談件数 264件 ・ビジネスマッチング件数 33件 ・ビジネスプロジェクト創出件数 4件 R6年度： ・見本市出展ブースでの相談・商談件数 164件 ・ビジネスマッチング件数 35件 ・ビジネスプロジェクト創出件数 3件 R7年度（見込）：未定	滋賀県【内閣府補助】 【商工政策課】
	【国立環境研究所連携推進事業【研究成果の活用・実用化】】 研究成果等を水環境ビジネスや琵琶湖漁業の活性化、琵琶湖の保全・再生につなげる産学官民連携による取組を推進するため、共同研究で活用された技術や研究成果、最新の技術知見等の情報共有を進めるとともに、技術開発に向けた取組を推進。また、研究成果等の情報を共有するデータベースを設置、運営。	R3年度～R7年度（見込）：（各年度実施） ・研究・技術分科会の開催（2回） ・プロジェクトチームによる技術開発の開始 ・研究・技術分科会の自立に向けた検討 ・コーディネーターによるマッチング活動 ・データベースの設置・運営	滋賀県【内閣府補助】 【環境政策課】
② 水産資源の適切な保存および管理			
漁場の再生および保全	【「琵琶湖漁業再生ステップアップ」プロジェクト事業】 漁場の再生や産卵繁殖場の機能改善により、水産資源の増大を図るため、水草除去、集中した外来魚駆除、ニゴロブナ、ホンモロコの種苗放流などを実施。	R3年度～R7年度（見込）： ・ニゴロブナ稚魚の放流 ・ホンモロコ稚魚の放流(R3のみ) ・淡水真珠母貝の生産 ・上記の効果調査	滋賀県【水産庁補助】 【水産課】
	【水産基盤整備事業（覆砂）】（再掲） セタジミの産卵繁殖場となる砂地を回復させ、水産資源の増大を図るため、かつて主要漁場であった南湖において、砂地を造成。	R3年度：3,75ha R4年度：4,5ha R5年度：5,25ha	滋賀県【水産庁 補助】 【水産課】
	【水産振興企画調整費】（再掲） 南湖窪地に対するプロジェクトに向けて、外部有識者からの情報・助言を得ながら南湖くぼ地の埋戻しや平坦化等を簡便かつ低コストで実施できる手法等を協議する検討会を実施。	R3年度：窪地の現状把握や改善手法の整理により南湖湖底環境改善事業の具体化を検討	滋賀県(県単) 【水産課】
	【水産多面的機能発揮対策事業】（再掲） 漁場環境の改善に取り組む漁業者を中心とした活動組織が実施する、造成した砂地を中心に行う湖底耕耘を支援。	R3年度：188ha R4年度：188ha R5年度：188ha R6年度：209ha	滋賀県【水産庁 補助】 【水産課】
	【魚類等増殖環境評価調査研究】 水産資源増殖のための各種施策の検討のため、南湖で行われた底質改善事業効果調査や内湖的環境水面の利活用等に向けた調査研究を実施。	R3年度：底質改善による魚類等増殖環境改善効果調査、内湖等を利用した地域資源の創出研究 R4～R6年度：西の湖等漁場環境動向モニタリング、北湖等におけるアユ等着臭メカニズムの解明	滋賀県【農林水産省 補助】 【水産課】
在来魚の産卵条件に即した増殖環境のあり方の検討、漁場生産力向上技術の開発	【水産資源評価モニタリング】 生物多様性に配慮しながら、琵琶湖の生態系を総合的に修復する技術の開発を実施。	R3, R4年度：水産資源の評価手法の確立とモニタリング、湖底の貧酸素化に実態調査、ホンモロコ産着卵への水位変動による影響調査 R5年度：水産資源の評価手法の確立とモニタリング、湖底の貧酸素化の実態調査、ホンモロコ繁殖動態研究 R6～R7年度（見込）：水産資源の評価手法の確立とモニタリング、湖底の貧酸素化に実態調査、ホンモロコ繁殖動態研究、ウナギの資源管理に関する研究	滋賀県(県単) 【水産課】
	【湖底耕耘による漁場生産力向上実証研究】	R3年度：耕耘条件の違いによる栄養塩帰帰と一次生産力との関係の把握、農業濁水河川河口域等での耕耘による栄養塩帰帰モニタリングの実施 R4年度：耕耘による珪藻等休眠細胞発芽調査、・好気的環境下におけるリンの溶出試験、農業濁水河川河口域等での耕耘による栄養塩帰帰モニタリング R5, R6年度：湖底耕耘による珪藻休眠細胞利用可能性調査	滋賀県【農林水産省 補助】 【水産課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
水産動物の種苗放流	【多様で豊かな湖づくり推進事業】 種苗放流等により水産業の基盤確保を図るため、ニゴロブナの種苗生産、放流やウナギ、ビワマスの放流、人工河川の運用によるアユ資源の添加を実施。	R3年度： ニゴロブナ放流20mm種苗1,007万尾、120mm種苗99万尾 ウナギ放流 種苗1,060 kg、ビワマス放流 種苗39万尾、 アユ放流 親魚12 t、セタシジミ放流0.3mm種苗1,200万個 R4年度： ニゴロブナ放流20mm種苗866.1万尾、120mm種苗101.4万尾、ウナギ放流 種苗 900kg、 ビワマス放流 種苗 28.7万尾、アユ放流 親魚 12.1 t R5年度： ニゴロブナ放流20mm種苗952万尾、120mm種苗96.9万尾 ウナギ放流 種苗 1,000kg、ビワマス放流 種苗 52.2万尾 アユ放流 親魚 19t R6年度： ニゴロブナ放流20mm種苗868万尾、120mm種苗87.8万尾 ウナギ放流 種苗 1,000kg、ビワマス放流 種苗 27万尾 アユ放流 親魚 20t R7年度（見込）： ニゴロブナ放流20mm種苗860万尾、120mm種苗90万尾 ウナギ放流 種苗 1,000kg、ビワマス放流 種苗 50万尾 アユ放流 親魚 12t	滋賀県、（公財）滋賀県水産振興協会、滋賀県漁業協同組合連合会〔内閣府補助〕 【水産課】
	【セタシジミ種苗放流事業】 南湖の砂地造成漁場、北湖の環境保全活動実施漁場において、セタシジミ種苗の放流を実施。	R3年度：セタシジミ稚貝放流 1,209万個 R4年度：セタシジミ稚貝放流 1,298万個 R5年度：セタシジミ稚貝放流 1,260万個 R6年度：セタシジミ稚貝放流 1,186万個 R7年度（見込）：セタシジミ稚貝放流 1,200万個	滋賀県（県単） 【水産課】
	【ホンモロコ資源管理推進事業】 ホンモロコの資源状況を調査し、その状況に応じた資源管理施策を実施。	R3、R4年度：標識を施した大型種苗の放流による資源調査を行うとともに、その結果に基づく資源管理手法を検討した。	滋賀県（県単） 【水産課】
	【種苗放流促進事業】 河川漁場での水産資源の維持増大を支援するため、アユ、アマゴ、イワナの種苗の河川漁場への放流を実施。	R3年度～R7年度（見込） 河川漁場の水産資源の増殖のために行うアユ、アマゴ、イワナの種苗放流経費に対する支援	滋賀県河川漁業協同組合連合会〔滋賀県補助〕 【水産課】
資源管理型漁業の推進	【資源管理型漁業推進総合対策事業】 琵琶湖の生態系や水産資源の維持・回復を目的とした資源管理型漁業を推進するため、対象魚種の資源や漁獲状況の調査を実施。	R3、R4年度： セタシジミ、ニゴロブナ、ホンモロコの資源状況調査	滋賀県資源管理協議会〔水産庁補助〕 【水産課】
	【水産資源の最大活用に向けたスマート水産業体制整備事業】 漁業者が漁獲情報のデジタル化を進めるとともに、漁業者がスマートフォン等によりリアルタイムで漁獲情報を報告できるWEBアプリ「湖レコ」を開発する。	R3～R7（見込み）： 漁獲情報報告WEBアプリ「湖レコ」の開発 漁獲情報のデジタル化推進	滋賀県デジタル化推進協議会、滋賀県〔水産庁補助〕 【水産課】
	【「滋賀の強靱化プラン」推進研究】 水産資源を適正かつ最大に活用できるよう、迅速かつ高度な資源評価を実施する。	R5～R7年度（見込み）： セタシジミ、ニゴロブナ、ホンモロコ、ビワマス、アユの資源状況調査	滋賀県〔水産庁委託〕 【水産課】
	【沿岸漁業における自主的資源管理体制高度化事業】 漁業者による資源管理協定の履行確認や自主的管理措置の取組の効果の検証等を行う。	R5～R7年度（見込み）： 資源管理方針の策定、資源管理協定の認定、履行確認、漁業者検討会の開催などの資源管理の推進	滋賀県資源管理協議会、滋賀県〔水産庁補助〕 【水産課】
琵琶湖や河川における漁業の持続的発展	【びわ湖のめぐみ紹介WEBサイト機能拡充業務】 「びわ湖のめぐみ」の魅力を消費者や観光客にPRする。	R3～R5年度： 琵琶湖八珍WEBサイトの活用により、担い手が行うPR活動や湖魚取扱店舗情報を発信 R6～R7年度（見込）： 湖魚の認知度向上・活用機会創出に向けた情報発信	滋賀県〔内閣府補助〕 【水産課】
	【しがの水産物流通拡大対策事業】 「びわサーモン」のイメージアップ活動や、琵琶湖産魚介類の直売会によるPR活動など、生産者が行う消費促進活動に対して支援。	R3～R5年度： 「びわサーモン」のイメージアップ活動等	びわサーモン振興協議会〔滋賀県補助〕 【水産課】
	【水産物流通促進対策事業】 県内産魚介類の流通促進のため、県内産魚介類の消費の拡大や付加価値の向上を支援。	R3～R7年度（見込）：県内産魚介類の消費拡大や付加価値の向上に資する滋賀県水産物加工品品評会の開催等の取組を支援	滋賀県水産加工業協同組合〔滋賀県補助〕 【水産課】
	【しがの漁業担い手フルサポート事業】 琵琶湖の漁業を受け継ぐ担い手の確保を図る。	R3～R7年度： 就業希望者への相談窓口の設置をはじめ、着業に向けた漁労技術の習得研修や初期コストに対する支援、若手漁業者の「儲かる漁業」の意識醸成に向けた、販売スキルの向上支援を実施	滋賀県〔内閣府補助〕 【水産課】
	【琵琶湖漁業ICT化推進調査事業】 漁業者個人の経験に基づく漁労作業をデータ化し、新規就業者に向けたマニュアルや漁労作業の効率化に活用する手法の検討を実施。	R3年度：データ化に必要な情報の選定、情報の収集および解析方法の検討 R4年度：アユ小糸網漁業のデータ解析と活用に向けたマニュアル化、沖曳網漁業とビワマス小糸網漁業について情報の収集及び解析法と活用法の検討 R5年度：沖曳網漁業の漁労行為のデータ化、ビワマス小糸網漁業の網掛かり時間把握 R6年度：沖曳網データの補完収集、沖曳網マニュアルの作成	滋賀県（県単） 【水産課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【川の魅力丸ごと体感事業】 河川漁業への県民の理解の促進と遊漁者の増加を図るため、川の魅力体験学習会や釣り教室を実施。 【水産多面的機能発揮対策事業】 漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資するヨシ帯・干潟等の保全など地域の取組（ヨシ帯の保全、干潟の保全、内水面の生態系維持、教育と啓発の場の提供等）を支援。 【「琵琶湖漁業再生ステップアップ」プロジェクト事業】（再掲） 漁場の再生や産卵繁殖場の機能改善により、水産資源の増大を図るため、水草除去、集中した外来魚駆除、ニゴロブナ、ホンモロコの種苗放流などを実施。	R3年度～R7年度（見込）：川の魅力体験学習会や釣り教室の実施（各年度） R3年度：27組織 R4年度：28組織 R5年度：28組織 R6年度：29組織 R7年度（見込）：未定 R3年度～R7年度（見込）： ・ニゴロブナ稚魚の放流 ・ホンモロコ稚魚の放流(R3のみ) ・淡水真珠母貝の生産 ・上記の効果調査	滋賀県/滋賀県河川漁業協同組合連合会[滋賀県補助] 【水産課】 滋賀県水産多面的機能発揮協議会[水産庁補助] 【水産課】 滋賀県[水産庁補助] 【水産課】
③観光、交通その他の産業に関する事項			
エコツーリズムの推進	【エコツーリズム推進支援事業】 エコツーリズムの推進を図るため、関係者間のネットワークを形成するための会議や、全国の先進事例を取り上げるシンポジウム、人材育成講座の開催やパンフレットの作成等を行う。	R3年度：ネットワーク形成会議（2回）、HPの更新 R4年度：パンフレットの増刷、配架 R5,6年度：パンフレットの配架、県内市町、シガリズム推進室等との連携 R7年度（見込）：万博会場内での情報発信	滋賀県(県単) 【琵琶湖保全再生課】
琵琶湖の特性を活かした観光振興等	【ビワイチ観光推進事業】 「ビワイチ」に代表されるサイクルツーリズムを推進し、自転車による観光を安心して楽しめる環境を整備するとともに、魅力ある観光資源を活かして、県内各地への周遊を促す取組を展開。	R3年度：琵琶湖岸ルートの「ビワイチ」及び県内の観光地等を周遊するルートの「ビワイチ・プラス」によるサイクルツーリズムを推進し、地域観光など地域の活性化につなげるため、誰もが安心にかつ気軽にサイクリングを楽しめる充実した環境づくりや「ビワイチ」サイクリングの魅力を発信。 R4年度：令和4年4月1日に施行した「ビワイチ推進条例」を契機に、「ビワイチ」、「ビワイチ・プラス」の取組を加速化し、条例に定める「ビワイチの日」（11/3）、「ビワイチ週間」（11/3-9）に県民がサイクリングに親しめるイベント等を市町や関係者と連携して実施し、県全域で観光の振興及び地域の活性化を図った。 R5年度：「ビワイチ」、「ビワイチ・プラス」の取組を加速化し、本県の観光振興及び活力ある地域づくりを進めるとともに、世界から選ばれるサイクルツーリズムの展開を図る。 R6年度：琵琶湖岸ルートの「ビワイチ」および県内の観光地等を周遊するルートの「ビワイチ・プラス」によるサイクルツーリズムを推進し、地域観光など地域の活性化につなげるため、誰もが安心にかつ気軽にサイクリングを楽しめる充実した環境づくりや「ビワイチ」サイクリングの魅力を発信する。 R7年度（見込）：未定	びわこビジターズビューロー、滋賀プラス・サイクル推進協議会、[内閣府、滋賀県補助]【観光振興局】
	【シガリズム魅力向上・発信事業】 観光地を単に巡るだけでなく、滋賀の自然に触れ、滋賀に暮らす人々と出会い、交流することで、ゆっくり、ていねいに暮らしてきた滋賀の時間の流れ、暮らしに息づく生活文化、営み、歴史、伝統などを、より深く体験・体感し、心のリズムを整えることができるツーリズムを「シガリズム」として推進。	R4年度： ・シガリズム体験の創出 67件 ・シガリズムの魅力発信（パンフレットの配布や広告等） R5年度： ・シガリズム体験の創出 64件 ・シガリズムの魅力発信（パンフレットの配布や広告等） R6年度： ・シガリズム体験の創出 365件 ・シガリズムの魅力発信（パンフレットの配布や広告等）	(公社)びわこビジターズビューロー [内閣府補助] 【観光振興局】
	【ビワイチ整備】 「ビワイチ」について、誰もが安全・安心に楽しめるルートとなるよう自転車の通行空間を整備。	R3年度：自転車歩行者専用道路整備 L=1.9km 道路改良（舗装工） L=8.2km R4年度：自転車歩行者専用道路整備 L=10.1km 自転車走行環境整備 L=3.8km R5年度：自転車走行環境整備 L=4.0km R6年度：自転車走行環境整備 L=5.9km R7年度（見込）：自転車走行環境整備 L=6.7km	滋賀県[内閣府、国土交通省補助] 【道路保全課】
	【「琵琶湖・伊吹山」広域自然観光圏の整備事業】 ビワイチを契機として、市の強みである“琵琶湖”および“伊吹山”をはじめとする豊かな自然と、交通の利便性の高さを生かした『駅を活用した自然を満喫する新しい旅のカタチ』を提案し、総合的なプロモーションを展開。	R3年度：サイクリングイベント実施による自然観光のPR・情報発信、ジャパンECOトラック ルートマップ日本語版改訂 R4年度：ビワイチアプリと連携したサイクルスタンプラリーの開催、イベント出店情報発信、ジャパンECOトラックの増刷 R5年度：サイクルツーリズム促進イベント、マイクリングスタンプチャレンジ、じゃんけんライド、Ebikeグレンデライド、モンベルフレンドフェアオンラインイベントへの出店、特産品PR、ジャパンECOトラックの増刷、サイクルモード大阪でのPR R6年度：ジャパンエコトラックの増刷、サイクルモード大阪への出店、モンベルフレンドフェアへの出店 R7年度（見込）：未定	米原市[内閣府補助] 【米原市商工観光課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
湖上交通の活性化	【日本遺産・琵琶湖魅力発信事業】 日本遺産を構成する文化財を中心に、「水の文化」を軸とした地域ならではの素材を活かし、観光ルートの開発や情報発信、地域のおもてなし環境の整備を推進。	R3年度：地域の事業者等が行う観光まちづくり活動に対する助成を約10件実施。また、観光展出版や WEBでの情報発信、構成文化財の案内看板整備、県内の他の日本遺産と連携した事業を実施。 R4年度：日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に対し各地域協議会等が実施する観光まちづくり活動を支援した。また、滋賀県の日本遺産の認知度向上と周遊観光を促進するため、その魅力や最新情報を広く発信し、本県への誘客の促進を図った。さらに周遊事業として「御水印」事業を実施した。 R5年度：日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に対し各地域協議会等が実施する観光まちづくり活動を支援するとともに、観光ボランティアガイドの利用促進に取り組んだ。加えて、滋賀県の日本遺産の魅力や最新情報を広く発信するため、パンフレットの増刷や日本遺産フェスティバル等の関連イベントに参加し、PRを行った。 R6年度：日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に対し各地域協議会等が実施する観光まちづくり活動を支援するとともに、観光ボランティアガイドの利用促進に取り組む。加えて、滋賀県の日本遺産の魅力や最新情報を広く発信することで、認知度向上と周遊観光を促進し、本県への観光誘客を図る。 R7年度（見込）：未定	日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会〔内閣府、滋賀県補助〕 【観光振興局】
	【しがスポーツの魅力総合発信事業】 県民が日常的にスポーツを楽しむ、生き生きと健康で暮らせる元気な滋賀を創造するために、湖上スポーツを含むスポーツの魅力を経合的に発信。	ホームページ「しがスポーツナビ！」アクセス数 R3年度：94,613件 R4年度：79,487件 R5年度：140,230件 R6年度：158,012件 R7年度（見込）：未定	滋賀県〔内閣府補助〕 【スポーツ課】
	【琵琶湖疏水通船事業】 琵琶湖疏水建設の意義の認識を図るとともに、新たな観光資源として、京都・大津の広域的な地域の活性化に寄与するため、第一琵琶湖疏水（大津～蹴上間）において舟運を復活させ、観光・教育のための旅客を目的とした運航を実施。	R3年度：国内向けプロモーションの実施、リピーター獲得に向けた特別企画の実施、着地型・滞在型の観光企画開発 等 R4年度：疏水ツーリズム促進事業の推進、航路延伸ガイドの人材育成、民間活力活用推進プロモーション、音響機器改良等、GPS連動多言語自動音声案内アプリ開発、航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光メニューの造成 R5年度：琵琶湖疏水フィールドミュージアム広域化に係る受入環境整備、疏水ツーリズム促進事業の推進、航路延伸ガイドの人材育成、民間活力活用推進プロモーション、航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光メニューの造成、新船（4艘目）建造 R6年度：航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光事業の磨き上げ、疏水ツーリズム促進事業におけるインバウンド対応の推進、航路延伸便事業化に伴う人材育成等の運営支援、民間活力活用推進プロモーション R7年度（見込）：未定	京都市、大津市、滋賀県〔内閣府補助〕※民間を含む「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」を設置 【京都市】
	【湖上交通情報の発信】 ホームページやパンフレットで湖上交通情報の発信を実施。	R3年度～R7年度（見込）：ホームページやパンフレットで湖上交通情報を発信	滋賀県（県単） 【交通戦略課】
	【湖上交通を活用した観光振興事業】 湖岸エリアの資源を活かした観光振興と地域における自転車活用を推進	R3年度～R7年度（見込）：予約制を導入し、利用者の希望に応じることができる運航を検討	守山市〔内閣府補助〕 【守山市地域振興・交通政策課・企業連携室】
	【補助港湾改修事業】 防災機能を向上させることで発災時の琵琶湖湖上交通の活用を図るため、防災拠点ヤード整備（彦根港）および耐震強化岸壁工事（長浜港）を実施。	R3～5年度：地盤改良（長浜港） R6年度：地盤改良柱 N=34本 R7年度（見込）：地盤改良柱（本数未定）	滋賀県〔国土交通省補助〕 【流域政策局】
	【災害時における湖上交通の活用】 災害時の道路の寸断等を想定し、独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所が管理する揚陸施設への旅客船接岸訓練を実施。	R6年度：訓練実施 堀川揚陸施設（高島市）岸壁に台船を近接して固定し、その台船を経由して旅客船（模擬船）に人員が乗降可能であることを確認	滋賀県〔内閣府補助〕 【防災危機管理局】
【災害時における湖上交通の活用】 マリナー施設等を保有する民間企業との連携体制を構築	R6年度：船舶や移動できる浮桟橋があるマリナー施設を有するヤマコーポレーション株式会社と災害時応援協定を締結	滋賀県 【防災危機管理局】	
4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項			
	【在来魚類のにぎわい復活に向けた研究】（再掲） 琵琶湖流域における喫緊の課題である「在来魚類の減少」に対して、県立試験研究機関と連携し、流域環境や底質環境、物質循環の視点から、その減少要因の解明と在来魚類の復活に向けた政策提案を実施。	R3年度： ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集の作成 ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集に基づく新たな湖辺環境改善活動の展開 ・養浜実施の有無による生物・底質の現状比較調査 ・イワナ、アユ、ビワマス等の産卵環境の再生回復策の検討 ・森からの土砂流出量の評価 ・新大宮川や愛知川での多様な主体による小さな自然再生の活動支援 R4年度： ・「湖辺環境改善に向けた考え方と実践」事例集に基づく実装段階としての湖辺環境改善活動の展開 ・森林流出土砂の質と量に関する統計解析 ・河川における粒径等に関する統計解析 ・河床材の粒径分布等の環境解析 ・家棟川等の小さな自然再生の要点的定性的解析	滋賀県〔内閣府、環境省補助〕 【琵琶湖環境科学研究センターなど】
	【水深別水質調査と新指標（底層D0）等のモニタリング計画の策定と評価の具体的検討】 水深別調査結果による琵琶湖水質の長期変動の把握および底層D0の実態・変動要因を考慮した効率的なモニタリング手法の確立や評価手法について検討。 ※底層D0：底層の溶存酸素量	R3年度：水深別水質調査の実施、底層D0モニタリングの実施、底層D0の環境基準点設定の検討等、底層D0のモニタリング・評価手法の提示に向け、酸素消費量(SOD)調査や簡易手法の試行、SODの面的分布把握調査の試行。底泥成分分析調査の実施 R4年度：水深別水質調査の実施、底層D0モニタリングの実施、底層水質調査の実施、底層D0のモニタリング・評価手法の提示に向け、底質の酸素消費量(SOD)調査や簡易手法の実施、SODの面的分布把握調査の実施、底泥成分分析調査の実施、底層D0のモニタリング・評価手法の提示	滋賀県（県単） 【琵琶湖環境科学研究センター】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【琵琶湖・瀬田川プランクトン等のモニタリングとプランクトンの予測手法の検討】 琵琶湖生態系の基礎を成し、水質の重要な形成要素であるプランクトンについて、発生状況を継続的にモニタリングするとともにプランクトンの予測手法を検討。	・琵琶湖環境基準点調査時におけるモニタリング（R3～6年度） ・琵琶湖水深別調査時におけるモニタリング（R3～6年度） ・瀬田川プランクトン調査（R3～6年度） ・瀬田川におけるプランクトン予測手法の検討（R3,4年度） ・琵琶湖における植物プランクトン遷移の現状評価のためのデータセットの作成、解析方法の検討および試行（R5年度） ・西の湖アオコ原因プランクトン調査（R5,6年度） ・琵琶湖における植物プランクトン遷移の現状評価（解析方法の修正、追加のデータセット作成、解析）（R6年度） R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【琵琶湖環境科学研究センター】
	【水質汚濁対策事業（環境政策課計上分除く）】（再掲） 水質汚濁防止法の規定に基づき、公共用水域水質測定計画を策定し、公共用水域の常時監視および委託で実施している河川の水質調査について、分析精度の管理調査を実施。	R3年度～R7年度（見込）： ・公共用水域水質測定計画の策定 ・琵琶湖、流入河川での水質モニタリング（琵琶湖北湖 10地点 南湖 5地点 河川 19地点）（生活環境項目等（COD、T-N、T-P等）年12回、健康項目 年4回、要監視項目年 1回） ・分析精度管理調査	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【湖沼水質保全計画（流出水対策等）推進事業】 水質汚濁メカニズムを解明するために、赤野井湾流域をモデル地域として選定し、流域、湖辺、湖内の総合的な調査・解析を行うとともに、赤野井湾流域における流出水対策の評価を行うため、湾内の底質環境ならびにシジミ等底生生物の生息状況を調査。	R3年度：赤野井湾流域流出水対策推進連絡会において、流出水対策計画の策定 R4～7年度（見込）：赤野井湾における底質やシジミ等底生生物の調査を行い、流出水対策計画の評価を実施、赤野井湾流域流出水対策推進連絡会において、事業の進行管理を実施	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【国立環境研究所連携推進事業（健全な水環境保全のための水質・湖底環境に関する研究）】 健全な琵琶湖の水環境の保全・管理・再生に向けて、琵琶湖での有機物収支の解析を行うとともに、水質や生態系に多大な影響を及ぼしていると考えられる底底環境に関する研究を行う。	R3年度～R7年度（見込）：琵琶湖北湖におけるバクテリア生産速度の空間分布、琵琶湖北湖における溶存有機物の分子サイズ分布特性、琵琶湖のSODの面的把握、琵琶湖の水柱および湖底におけるリンの動態、琵琶湖流動モデルと粒子追跡モデルを組み合わせた水塊交換評価システムの開発、湖水中の有機物濃度評価手法の検討、琵琶湖北湖におけるリンの鉛直分布の把握、南湖の藻類群集が水環境に与える影響調査、赤野井湾の夏季集中観測から見えた水質汚濁プロセス、琵琶湖流域河川の溶存メタン濃度の時空間変動、全層循環シミュレーションの高精度化、琵琶湖の底泥酸素消費量の面的把握、栄養塩や溶存有機物の底泥溶出フラックスの算定、溶存有機物の水環境評価指標としての有効性評価、琵琶湖北湖におけるリンの鉛直分布の把握と起源推定、南湖の藻類群集が水環境に与える影響調査、琵琶湖流域河川の溶存メタン濃度の流出特定、琵琶湖北湖の全層循環予測シミュレーション解析、琵琶湖の底泥酸素消費量の面的把握、溶存有機物の水環境評価指標としての有効性評価、琵琶湖南湖のシアノバクテリアの動態、琵琶湖および琵琶湖流域におけるメタンに関する調査、琵琶湖北湖の全層循環シミュレーション解析、琵琶湖のSODの面的把握、湖水および底泥中のリンの動態および形態調査	滋賀県〔内閣府補助〕 【琵琶湖環境科学研究センター】
	【国立環境研究所連携推進事業（湖沼生態系の評価と管理・再生に関する研究）】 琵琶湖生態系の保全・管理・再生手法に関する研究と生態系評価・予測のためのモニタリング手法の検討、水草管理による生態系再生に向けた水草生育の調査、モデル予測および水草刈取り・除去が生物・生態系に与える影響の評価を実施。	R3年度～R7年度（見込）：テレメトリによる親魚の分布・移動調査、標本収集による分布データの蓄積、南湖のホンモロコ、フナ類の資源量推定と減少要因の解明、DNA種同定のための参照データ・標本コレクションの整備、ドローンによる植生記録手法の検討、漂流パイGPSデータ解析による湖面風推定手法の検討、重点的調査地における魚種ごとの繁殖生態に関する調査、個体の捕獲と発信機の装着および放流による親魚の移動に関するデータ収集、多様な種・生活ステージにおける在来魚分布データの蓄積、DNA種同定のための参照データ・標本コレクションの整備、公開、親魚の移動をテレメトリで広範囲に追跡するための受信機網の整備、漂流式受信機を活用した効率的な湖面環境の調査手法の検討、環境DNA解析によるイシガイ科二枚貝の効率的な分布調査手法の検討、個体の捕獲と発信機の装着および放流による親魚の移動に関するデータ収集、魚卵の分布データについてデータベースを構築、多様な種・生活ステージにおける在来魚分布データの蓄積、漂流式パイを活用した湖面環境の観測手法の検討、環境DNA解析による効率的な二枚貝の分布調査法の確立、産着卵の分布調査の継続、データの解析と発表、個体識別標識を行った個体の放流、個体信号の受信データの蓄積および解析、魚卵や親魚の分布データのデータベース化、分布モデル等を用いた産卵・生息適地の推定、琵琶湖や流入河川における環境DNA解析等による魚類・二枚貝・藻類等の分布調査、琵琶湖や流入河川における水温や水質の環境調査、その解析やデータベース化などの情報整備	滋賀県〔内閣府補助〕 【琵琶湖環境科学研究センター】
	【国立環境研究所連携推進事業【研究成果の活用・実用化】】（再掲） 研究成果等を水環境ビジネスや琵琶湖漁業の活性化、琵琶湖の保全・再生につなげる産学官金連携による取組を推進するため、共同研究で活用された技術や研究成果、最新の技術知見等の情報共有を進めるとともに、技術開発に向けた取組を推進。また、研究成果等の情報を共有するデータベースを設置、運営。	R3年度～R7年度（見込）：研究・技術分科会の開催（2回）、プロジェクトチームによる技術開発の開始、研究・技術分科会の自立に向けた検討、コーディネーターによるマッチング活動、データベースの設置・運営（各年度）	滋賀県〔内閣府補助〕 【環境政策課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【緊急時における原因物質等調査手法の活用】 水質汚濁関連の事故等への対応に役立てるため、他の自治体とも連携して機器分析手法を体系的に再構築し、網羅的機器分析と生物応答試験のスクリーニングを合わせることで、迅速な発生源の特定に寄与し、環境リスクの低減化につなげる。 【気候変動が琵琶湖の水質・生態系にもたらす影響と適応策に関する研究】 表層での有機物生産と底層への沈降、有機物の分解と酸素消費、底層の貧酸素化と底生生物の分布に着目し、気候変動が琵琶湖北湖の水質や生態系に及ぼす複合的な影響の評価 【琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と科学的情報発信に関する研究】（再掲） 琵琶湖流域におけるプラスチックの動態を把握するため、その収支を明らかにするとともに、プラスチックの成分調査から主たる起源を明らかにする。また得られた科学的情報の発信にあたり必要な配慮事項を提示。 【グリーンインフラの推進に向けた河川流域が有する多様な機能の把握とその保全再生に関する研究】 河川流域の生態系の保全および流域の減災を目的として、河川流域の生態系が有するグリーンインフラ機能を明らかにし、機能の発揮に向けた生態系の再生・回復方法等を提案。 【琵琶湖沿岸の自然再生と生態系の現状評価】 生態系管理を効果的・効率的に実施するための技術と仕組みを、水草の大量繁茂対策、侵略的外来水生植物の管理、二枚貝等の生息環境改善に適用し、実質的な生物多様性の再生に向けた課題整理と現状評価。	R3, R4年度：一斉分析法の確立および改良、未規制化学物質のモニタリング調査、WET試験法の試行、上記技術を活用した緊急事故対応に係る具体的手法の検討 R5年度（見込）：事故時等の原因物質等分析手法の再構築にかかる対象項目の選定、緊急時原因物質等調査手法への活用（機器分析…自動同定定量システムの構築および有機フッ素系化合物の分析方法検討、生体影響評価…魚類（ヒメダカ）、甲殻類（オオビワミジンコ）を用いた国内在来種による急性毒性試験への移行） R6年度：事故時等の原因物質等分析手法の再構築にかかる対象項目の分析方法検討、緊急時原因物質等調査手法への活用（機器分析…自動同定定量システムによる平常時データ取得およびLCMS新規対象物質の分析方法検討、生体影響評価） R7年度（見込）：未定 R5, R6年度： ・気候変動が表層の生態系と底層の貧酸素化にもたらす影響の評価 ・気候変動の影響評価に向けた底生生物の分布の把握 ・全層循環未完了が水質に及ぼす影響のモデル解析と適応策の検討 R5年度： ・陸域・河川におけるプラスチック量の調査 3地点 ・湖内におけるプラスチック量の調査 4地点 ・プラスチックごみに対する意識を把握するワークショップ 5回 R6年度： ・陸域・河川におけるプラスチック量の調査 5地点 ・湖内におけるプラスチック量の調査 4地点 ・プラスチックごみに対する意識を把握するWebアンケート 1回 ・プラスチック動態モデルの構築 R7年度（見込）： ・陸域・河川におけるプラスチック量の調査 3地点 ・湖内におけるプラスチック量の調査 1地点 ・プラスチックごみ対策に関するWebアンケート 1回 ・プラスチック動態モデルを用いた琵琶湖の収支の解析 R5年度から開始 R5年度： ・河川流域のグリーンインフラ機能の評価に関する基礎調査 ・河川流域のグリーンインフラ機能に関する流域環境モニタリング技術開発の基礎調査 ・河川流域の小さな自然再生の継続方法の検討 ・河川流域のOECMの可能性についての基礎調査 R6年度： ・河畔林のグリーンインフラ機能の評価方法の検討 ・河畔林のグリーンインフラ機能に関する流域環境モニタリング技術開発の検討 ・河川流域の小さな自然再生の継続方法の検討 ・河畔林の民間によるOECM維持継続の要点についての社会調査 R7年度（見込）：未定 R5年度から開始 R5, R6年度： ・水草除去と生態系モニタリング ・オオバナミズキンバイが生育しにくい照度条件の把握 ・二枚貝の保全再生に向けた住民活動支援のあり方検討 ・滋賀県生きものデータバンクを活用した生きものの生息状況長期変遷の把握 R7年度（見込）：未定 R5年度から開始	滋賀県(県単) 【琵琶湖環境科学研究センター】 滋賀県【環境省委託】 【琵琶湖環境科学研究センター】 滋賀県(単独) 【琵琶湖環境科学研究センター】 滋賀県【内閣府補助】 【琵琶湖環境科学研究センター】 滋賀県【内閣府補助】 【琵琶湖環境科学研究センター】
5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項			
(1) 住民、事業者、特定非営利活動法人等の多様な主体による協働の推進に関する事項			
多様な主体の協働と交流の推進 住民、特定非営利活動法人等への活動支援			
	【マザーレイクゴールズ（MLGs）の推進】 琵琶湖に関わる多様な主体をつなぎ、様々な活動や事業の創発を促進することにより、マザーレイクゴールズの達成に寄与	R3年度：マザーレイクゴールズ策定イベント：1回、ワークショップの開催：34回、講演：36回、ロゴマークの作成、管理、ウェブサイトの構築、運営、YouTube、SNSでの情報発信 R4年度：MLGsみんなのBIWAKO会議 1回、MLGs学術フォーラム 3回、ワークショップ等の開催 47回、講演 53回、MLGsツーリズム教材作成、ロゴマークの管理、ウェブサイトの運営、YouTube、SNSでの情報発信 R5年度：MLGsみんなのBIWAKO会議 1回、MLGs学術フォーラム 3回、ワークショップ等の開催 32回、講演回数 70回、MLGs紹介動画作成、ロゴマークの管理、ウェブサイトの運営、YouTube、SNSでの情報発信 R6年度：MLGsみんなのBIWAKO会議 1回、MLGs学術フォーラム 2回、ワークショップ等の開催 30回、講演 30回、MLGs紹介動画作成、ロゴマークの管理、ウェブサイトの運営、YouTube、SNSでの情報発信 R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【琵琶湖保全再生課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【「びわ湖の日」活動推進事業】 民間企業や大学など様々な主体とともに、「びわ湖の日」の啓発を実施。	R3年度： 「びわ湖の日」をきっかけとした森・川・里・湖が織りなす多様な価値や「びわ活」を発信しながら、これまでの取組を振り返り、今を見つめ直し、これからを考え、行動するきっかけづくりを進める。 R4年度： ・「びわ湖の日」PR動画の作成、SNSによる発信 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前事業の実施（7回） R5年度： ・若者を中心としたプロジェクトチームによる情報発信の実施 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前授業の実施 R6年度： ・琵琶湖ハンドブック四訂版の作成 ・若者を中心としたプロジェクトチームによる情報発信の実施 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前授業の実施 R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【環境政策課】
	【環境保全県民活動支援事業】（再掲） 環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るため、「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」に定められている環境美化の日を基準とした環境美化活動等を実施。（実施区域の一部に湖岸および河川を含む）	R3年度：環境美化活動の実施 R4年度：環境美化活動の実施 R5年度：環境美化活動の実施 R6年度：環境美化活動の実施 R7年度（見込）：環境美化活動の実施	滋賀県、市町、美しい湖国をつくる会など 【循環社会推進課】
	【琵琶湖レジャー利用適正化推進事業】（再掲） 琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例（琵琶湖ルール）に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進。	※外来魚対策分のみ抜粋 R3年度：回収ボックス63基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 開催なし 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等12団体403人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数114人 R4年度：回収ボックス62基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数825人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等15団体1,058人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数110人 R5年度：回収ボックス61基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数955人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等17団体1,410人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数98人 R6年度：回収ボックス59基、回収いけす25基運用 外来魚駆除釣り大会 参加者数217人 外来魚釣り上げ隊による釣り大会 実施団体等25団体2,788人 外来魚釣り上げ名人事業 参加人数120人 R7年度（見込）：各種取り組みを実施	滋賀県(県単) 【琵琶湖保全再生課】
	【協働の森づくり啓発事業】 森林を県民みんなで守り育てる意識の高揚と森づくりへの参加拡大等を図るため、広報誌の発行、交流会の開催、地域普及啓発活動等を実施。	R3,R4年度：広報誌の発行、その他森林づくりの普及啓発 R5,R6年度：啓発イベントの実施や広報誌の発行、その他森林づくりの普及啓発 R7年度（見込）：未定	市町/森づくり団体等[滋賀県補助] 【森林政策課】
	【みずべ・みらい再生事業（ふるさとの川づくり協働事業）】 地域が行う河川の竹木伐採等の河川愛護活動に対して費用の助成を行うとともに、これらの活動を支援するための川へ降りる階段等の整備を実施。	R3年度：実施団体数1,255団体、参加者数86,000人、活動面積1,024ha R4年度：実施団体数1,219団体、参加者数85,000人、活動面積1,024ha R5年度：実施団体数1,220団体、参加者数85,000人、活動面積1,018ha R6年度：実施団体数1,220団体、参加者数85,000人、活動面積1,018ha R7年度（見込）：河川愛護活動への支援	滋賀県(県単) 【流域政策局】
	【淡海ネットワークセンター支援事業】 地域づくりやまちづくり、福祉、環境、文化等の様々な分野における県民の自主的な社会的活動を総合的に支援することを目的とする（公財）淡海文化振興財団の運営に必要な支援を実施。	R3年度～R7年度（見込）： 情報提供、活動・組織基盤強化（未来ファンドおうみ等）、人材育成（おうみ未来塾） （各年度実施）	（公財）淡海文化振興財団[滋賀県補助] 【県民活動生活課】
	【県民活動および協働の総合推進】 情報共有化、情報交換のシステムや、政策形成段階における協働を推進するための仕組みの構築を実施。	R3年度：協働プラットフォームの開催（1件、うち琵琶湖関係のテーマ1件）、滋賀県協働ポータルサイトの再構築 R4～R6年度：滋賀県協働ポータルサイトの運用 R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【県民活動生活課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
(2) 琵琶湖保全再生施策の推進体制に関する事項	【琵琶湖保全再生計画推進事業】 「琵琶湖保全再生施策に関する計画」に基づく施策の更なる推進に向け、主務省庁・関係府県市・県内市町との連携、計画の進行管理、計画の広報・啓発、環境審議会での審議を実施する。また、琵琶湖が抱える課題を共有し、施策の推進等について意見交換や情報共有を行うため、琵琶湖保全再生推進協議会等を開催する。	R3～R7年度（見込）： ・第5～8回琵琶湖保全再生推進協議会幹事会 ・主務省庁・県担当者会議 ・関係府県市担当者会議 ・県・市町琵琶湖保全再生計画推進会議 ・滋賀県環境審議会の開催	滋賀県(県単) 【琵琶湖保全再生課】
6 琵琶湖保全再生施策の実施に資する体験学習を通じた教育その他の教育の充実に関する事項			
(1) 体験型の環境学習の推進	【琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト】 農村地域の生態系保全に繋がる「豊かな生きものを育む水田づくり」の取組みを拡大する。	R3年度：魚のゆりかご水田のPR活動、出前授業 R4年度：魚のゆりかご水田のPR活動、水田での生物調査 R5年度：魚道設置支援、水田での生きもの調査の実施、魚のゆりかご水田米認証業務の実施、魚のゆりかご水田のPR活動 R6年度：魚道設置支援、出前講座の実施、魚のゆりかご水田米認証業務の実施、魚のゆりかご水田のPR活動 R7年度（予定）：魚道設置支援、水田での生きもの調査の実施、魚のゆりかご水田米認証業務の実施、魚のゆりかご水田のPR活動	滋賀県（県単） 【農村振興課】
	【未来へつなぐ木の良さ体感事業（R4年度までは「木育推進事業」）】 びわ湖材の利用に対する県民、事業者及び市町の理解促進と利用拡大を図るため、住宅や公共施設の木造化・木質化をはじめ、県産材の製品開発、産地証明、木質バイオマス利用等の取組に対して支援。	R3年度：県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進等の支援、木育のビジネス化に向けた支援、未利用材の利活用、木質バイオマスの地域循環の促進 R4年度：県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進等の支援、木育のビジネス化に向けた支援、未利用材の利活用、木質バイオマスの地域循環の促進 R5年度：県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進、木育拠点施設整備の推進、木育のビジネス化に向けた支援、未利用材の利活用、木質バイオマスの地域循環の促進 R6年度：県産材住宅、公共施設等の木造化・木質化、県産材の製品開発、産地証明、木育の推進、木育拠点施設整備の推進、未利用材の利活用 R7年度（見込）：未定	滋賀県、市町[滋賀県補助] 【びわ湖材流通推進課】
	【魚を学ぶ体験学習促進事業】 醒井養鱒場入場者や小中学生等に対して内水面漁業の理解や自然環境保全の啓発普及に努めるため、醒井養鱒場のさかな学習館、飼育池等の場内施設を活用し、様々な研修活動等を実施。	R3年度：一般入場者に対しての魚類や漁業に関する啓発普及、夏休み親子さかな教室の開催、採卵教室の開催 R4年度：一般入場者に対しての魚類や漁業に関する啓発普及、夏休み親子さかな教室の開催、採卵教室の開催 R5年度：一般入場者に対しての魚類や漁業に関する啓発普及、夏休み親子さかな教室の開催、採卵教室の開催 R6年度：一般入場者に対しての魚類や漁業に関する啓発普及、夏休み親子さかな教室の開催、採卵教室の開催 R7年度（見込）：未定	滋賀県(県単) 【水産課】
	【展示事業】 研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料とし、人と自然の関わり等について琵琶湖博物館で展示を実施。	R3年度： ・企画展示「湖国の食事（くいじ）」及び水族展示等の常設展示開催 R4年度： ・企画展示「チョウ展－近江から広がるチョウの世界－」及び水族展示等の常設展示開催 R5年度： ・企画展示「おこめ展－おこめがつなぐ私たちの暮らしと自然－」及び水族展示等の常設展示開催 R6年度： ・企画展示「湖底探検II－水中の草原を追う－」及び水族展示等の常設展示開催 R7年度（見込）：未定	滋賀県[内閣府補助] 【琵琶湖博物館】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【環境学習支援事業】 県民や各種団体などが行う環境学習や活動を支援するため、各種情報、交流機会の提供、環境学習関連の各主体の連携等に取り組む琵琶湖博物館環境学習センターの運営を実施。	R3年度～R7年度（見込）： ・環境学習情報メールマガジン「そよかぜ」の発行 ・環境学習推進員による相談対応	滋賀県（県単） 【琵琶湖博物館】
	【エコロシーが運用事業】 県民や各種団体などが行う環境学習や活動がよりよいものになっていくことを応援するため、環境学習情報ウェブサイト「エコロシーが」により各種情報等を提供。	R3年度～R7年度（見込）： 環境学習の企画やプログラム作りの際に役立つ事例・指導者・施設・教材・関連データなどの情報を収集し、県民等へ提供	滋賀県（県単） 【琵琶湖博物館】
	【情報交流事業】 琵琶湖博物館機能を活用し、県民、企業、団体等と協働して、みんなで琵琶湖のことを感じ考える交流機会を提供し、住民各層と琵琶湖との各種交流イベントなどを実施。	R3年度～R7年度（見込）： 各種講座、体験教室、研修、観察会等の交流事業の実施	滋賀県（県単） 【琵琶湖博物館】
	【自然体験を通じた環境学習推進事業】 自然体験を通じて環境学習を推進	R5年度：環境学習プログラム実践のための人材育成講座を開催（計3回）、親子向け自然体験イベントを開催（1回） R6年度：環境学習プログラム実践のための人材育成講座を開催（計4回）、親子向け自然体験イベントを開催（1回） R7年度（見込）：環境学習プログラム実践のための人材育成講座を開催（計4回）、親子向け自然体験イベントを開催（1回）	滋賀県（県単） 【環境政策課】
	【エコツーリズム推進支援事業】（再掲） エコツーリズムの推進を図るため、関係者間のネットワークを形成するための会議や、全国の先進事例を取り上げるシンポジウム、人材育成講座の開催やパンフレットの作成等を行う。	R3年度：ネットワーク形成会議（2回）、HPの更新 R4年度：パンフレットの増刷、配架 R5、6年度：パンフレットの配架、県内市町、シガリズム推進室等との連携 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【地球温暖化防止活動推進センター運営事業】 CO ₂ ネットゼロ社会づくりに関する環境学習を推進するため、学校や地域において、CO ₂ ネットゼロ社会づくりに関する講座を実施。	R3年度：136回（学校96回、地域40回） R4年度：167回（学校93回、地域74回） R5年度：199回（学校118回、地域81回） R6年度：196回（学校126回、地域70回） R7年度（見込）：150回程度	滋賀県（県単） 【CO ₂ ネットゼロ推進課】
(2) 教育の振興			
	【びわ湖フローティングスクール】 環境に主体的にかかわる力、論理的思考力、共生・協働する力、コミュニケーション能力、規律ある生活の実践力の育成を目指すため、県内の小学校5年生を対象とした、学習船「うみのこ」による1泊2日の児童学習航海の間にびわ湖や郷土を教材とした体験学習および交流学習の「びわ湖学習」、学習の基盤となる大集団の共同生活である「船内生活」という2つの領域の体験学習を実施。	R3年度： ・児童学習航海（1日）101航海 乗船児童数 232校13,559人 ・学習船「うみのこ」親子体験航海 中止 ・「湖の子」体験航海等（1日）1航海（児童32人が乗船） R4年度： ・児童学習航海（1日）102航海 乗船児童数 232校13,226人 ・学習船「うみのこ」親子体験航海（1日）3航海（94組が乗船） ・「湖の子」体験航海（1日）1航海（児童125人が乗船） R5年度： ・児童学習航海（1泊2日）102航海 乗船児童数 232校 13,164人 ・学習船「うみのこ」親子体験航海（1日）2航海（108組が乗船） ・「湖の子」体験航海（1日）2航海（児童113人が乗船） R6年度： ・児童学習航海（1泊2日）102航海 乗船児童数 232校 13,102人 ・学習船「うみのこ」親子体験航海（1日）2航海（111組が乗船） ・「湖の子」体験航海（1日）2航海（児童88人が乗船） R7年度（見込）： ・児童学習航海（1泊2日）102航海 ・学習船「うみのこ」親子体験航海（1日）2航海 ・「湖の子」体験航海（1日）2航海	滋賀県（県単） 【びわ湖フローティングスクール】
	【森林環境学習「やまのこ」事業】 次代を担う子どもたちが森林への理解と関心を深めるため、県内の小学校4年生を対象に、森林環境学習を実施。	R3年度：233校 R4年度：233校 R5年度：231校 R6年度：234校 R7年度（見込）：県内小学校で実施	市町/学校法人/国立大学法人（滋賀県補助）/滋賀県（県単） 【森林政策課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【たんぼのこ体験事業（自治振興交付金）】 小学校の子どもたちが、生命や食べ物大切さを学ぶ機会を提供するため、小学生が、自らたんぼや畑に入り、「育て」、「収穫し」、そして調理して「食べる」という一貫した農業体験学習を実施。	R3年度：201校 R4年度：202校 R5年度：201校 R6年度：201校（見込） R7年度：県内小学校で実施	滋賀県（県単） 市町【滋賀県補助】 【みらいの農業振興課】
	【体系的な環境学習推進事業】 幼児の自然体験型環境学習や小学校等におけるエコ・スクールの実践支援等を実施。	R3年度：滋賀県環境学習等推進協議会の開催（2回）、幼児自然体験型環境学習指導者研修会の開催（初級2回、上級3回）、エコ・スクールの活動支援・認定（20校） R4年度：滋賀県環境学習等推進協議会の開催（1回）、幼児自然体験型環境学習指導者研修会の開催（初級 3回、上級 2回）、エコ・スクールの活動支援・認定（16校） R5年度：滋賀県環境学習等推進協議会の開催（2回）、エコ・スクールの活動支援・認定（18校） R6年度：滋賀県環境学習等推進協議会の開催（3回）、エコ・スクールの活動支援・認定（18校） R7年度（見込）：	滋賀県（県単） 【環境政策課】
	【ラムサールびわっこ大使事業】 広い視野で人と自然を考え、琵琶湖を取りまく環境を守り伝えるために具体的に行動し、活動を広げていくことができる人材を育成するため、県内小学生から「ラムサールびわっこ大使」を公募して、環境に関する国際会議等に派遣。	R3年度：びわっこ大使（事前学習会、県外派遣） R4年度：びわっこ大使（事前学習会、県外湿地交流会、世代間交流会） R5年度：びわっこ大使（事前学習会、県外湿地交流会、世代間交流会） R6年度：びわっこ大使（学習会）	滋賀県（県単） 【自然環境保全課】
	【しが環境教育研究協議会】 学校における環境教育の充実と指導にあたる教員の指導力向上に資するため、研究協議会を実施。	R3年度：112名の環境教育担当教員が参加 R4年度：115名の環境教育担当教員が参加 R5年度：103名の環境教育担当教員が参加 R6年度：103名の環境教育担当教員が参加 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【幼小中教育課】
	【「地域の力を学校へ」推進事業】 「しが学校支援センター」を設置し、豊富な知識や経験を持つ地域の人々や企業・団体・NPO等（支援者）が、学校を支援する仕組みづくりを推進するため、学校と支援者との連絡調整、相談・助言、企画・運営といったコーディネートを行い、琵琶湖の環境保全および再生に関する連携授業を実施。	R3年度：連携授業実施校数100校 R4年度：連携授業実施校数146校 R5年度：連携授業実施校数151校 R6年度：学校支援メニューフェアの開催1回、連携授業実施校数183校 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【生涯学習課】
	【琵琶湖漁業と湖魚料理を学べる体験学習会】 漁業者や地元食文化の伝承に関する活動に携わる方々と連携し、琵琶湖における漁業や環境について理解を深めるための出前講座や、琵琶湖の魚を使った料理教室等を開催。	R3, R4年度：琵琶湖漁業と湖魚料理を学べる体験学習会の開催	滋賀県【内閣府補助】 【水産課】
	【びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携促進事業】 県内小学校を対象に、琵琶湖の魚の美味しさを体感できるよう旬の食材を学校給食へ提供。	R3年度：県内の公立小学校に現在低利用の湖魚食材の提供、学校栄養教諭等への湖魚食材に関する情報提供 R4年度～R7年度（見込）：湖魚食材費への補助、学校栄養教諭等の勉強会、試作会や試食会等への支援、湖魚食材に関する情報提供、料理コンクールによる新たな献立の掘り起こし	滋賀県【内閣府補助】 【水産課】
(3) 広報・啓発の実施			
	【「びわ湖の日」活動推進事業】（再掲） 民間企業や大学など様々な主体とともに、「びわ湖の日」の啓発を実施。	R3年度： 「びわ湖の日」をきっかけとした森・川・里・湖が織りなす多様な価値や「びわ活」を発信しながら、これまでの取組を振り返り、今を見つめ直し、これからを考え、行動するきっかけづくりを進める。 R4年度： ・「びわ湖の日」PR動画の作成、SNSによる発信 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前事業の実施（7回） R5年度： ・若者を中心としたプロジェクトチームによる情報発信の実施 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前授業の実施 R6年度： ・琵琶湖ハンドブック四訂版の作成 ・若者を中心としたプロジェクトチームによる情報発信の実施 ・「びわ湖の日」環境イベントの開催（1回） ・大学との連携講座の開催（6回） ・「びわ湖の日」出前授業の実施 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【環境政策課】

第2期琵琶湖保全再生計画 取組実績

計画項目	取組内容	実績	実施主体
	【湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信】 湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信のため、国際会議での発信・ネットワーク構築・情報収集や姉妹友好州（ミシガン州・湖南省）との連携、国内外自治体との連携を実施。	R3年度： 第18回世界湖沼会議、第9回世界水フォーラム等を通じて、琵琶湖保全の取組および湖沼の重要性の発信を行う。H29年度： 第8回世界水フォーラム（ブラジル）での湖沼セッションの開催、テーマ別セッションでの発表やブース出展、世界水フォーラム成果文書への琵琶湖の事例掲載等 R4年度： ・第4回アジア・太平洋水サミットでの琵琶湖の総合保全の取組やMLGsに関する発信 ・ILEC 等と連携し、琵琶湖保全の取組及び湖沼の重要性の発信 ・国際連携の推進 R5年度： ・第19回世界湖沼会議（ハンガリー・バトナフュレド）への参加および琵琶湖の総合保全の取組の発信 ・国際連携の推進 R6年度： ・第10回世界水フォーラム（インドネシア・バリ）への参加及び琵琶湖の総合保全の取組の発信 ・第6回アジア・ヨーロッパ都市水管理シンポジウム（中国・湖南省）への参加および琵琶湖の総合保全の取組の発信 ・国際連携の推進 R7年度（見込）：第20回世界湖沼会議（オーストラリア・ブリスベン）への参加および琵琶湖の総合保全の取組の発信	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】
	【展示事業】（再掲） 研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料とし、人と自然の関わり等について琵琶湖博物館で展示を実施。	R3年度： ・企画展示「湖国の食事（くいじ）」及び水族展示等の常設展示開催 R4年度： ・企画展示「チョウ展－近江から広がるチョウの世界－」及び水族展示等の常設展示開催 R5年度： ・企画展示「おこめ展－おこめがつなぐ私たちの暮らしと自然－」及び水族展示等の常設展示開催 R6年度： ・企画展示「湖底探検II－水中の草原を追う－」及び水族展示等の常設展示開催 R7年度（見込）：未定	滋賀県〔内閣府補助〕 【琵琶湖博物館】
	【琵琶湖講習】 琵琶湖環境科学研究センターの調査研究で蓄積された知見を地域等に還元するため、各種団体・学校等からの要請に応じて、センター内外での講習や講演を実施。	R3年度：22回、 978人参加 R4年度：28回、1,145人参加 R5年度：24件、1,404人参加 R6年度：18件、 953人参加 R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【琵琶湖環境科学研究センター】
	【びわ湖セミナー】 琵琶湖環境科学研究センターの調査研究で蓄積された知見を地域等に還元するため、センターの研究成果等をもとに、一般の方を対象とした「研究成果発表会」として開催。	R3年度：1回、 252人参加（WEB開催） R4年度：中止（中止分の代替としてR5.6に講演動画をセンターHPで掲載。視聴者268人） R5年度：1回、 150人参加 （現地とWEBのハイブリッド開催） R6年度：1回、 126人参加 （現地とWEBのハイブリッド開催） R7年度（見込）：未定	滋賀県（県単） 【琵琶湖環境科学研究センター】
	【「世界湖沼の日」推進事業】 国連における「世界湖沼の日（8月27日）」制定を契機に、滋賀・琵琶湖の過去を振り返るとともに、現在から未来に向けた取組を加速化していくため、これまで琵琶湖の環境保全を担ってきた先人と若者との世代間交流や、若者の国際交流、本県の取組の海外への発信を行い、国内外での多様な主体との交流・連携の更なる推進を図る。	R7年度（見込）： ・「世界湖沼の日」制定記念イベント ・「（仮称）世界湖沼の日 共創フォーラム」 ・「世界湖沼の日」次世代育成 ・ニカラグア版うみのこの普及促進（JICA連携事業） ・琵琶湖保全再生レガシー継承	滋賀県（県単） 【琵琶湖保全再生課】